

草加市教育委員会会議録

平成 2 7 年第 3 回臨時会

平成 2 7 年草加市教育委員会第 3 回臨時会

平成 2 7 年 8 月 4 日 (火) 午前 9 時 3 0 分から
草加市立谷塚文化センター(2 階 第 1 ・ 2 学習室)

議 題

第 3 5 号議案 平成 2 8 年度使用中学校用教科用図書の採択について

出席者

教 育 長	高 木 宏 幸
教育長職務代理者	村 田 悦 一
委 員	井 出 健 治 郎
委 員	小 澤 尚 久
委 員	加 藤 由 美
委 員	宇 田 川 久 美 子

説明員

教育総務部長	今 井 規 雄
教育総務部副部長	橋 本 政 幸
教育総務部副部長 (兼)総務企画課長	青 木 裕
指 導 課 長	三 浦 伸 治

教科用図書選定資料作成委員会委員長、副委員長
教科用図書選定資料作成委員 1 1 人

事務局

書 記	飯 野 光 政
	山 岸 亮

傍聴人 2 5 人

午後 9 時 3 0 分 開会

開会の宣言

高木宏幸教育長 ただ今から、平成 2 7 年教育委員会第 3 回臨時会を開催いたします。

前回会議録の承認

高木宏幸教育長 事務局から前回会議録の朗読をお願いいたします。

———— 前回会議録の朗読 ————

高木宏幸教育長 ただ今、事務局から前回会議録の朗読がありましたが、これにつきましてご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

(「ありません」と言う者あり)

高木宏幸教育長 よろしければ、承認することとし、会議録への署名を行いたいと思います。

教育長・委員の署名

高木宏幸教育長 以上で前回会議録の承認を終了します。

議案審議

高木宏幸教育長 ただ今から、審議に入らせていただきます。本日の案件は、議案が 1 件となっております。

なお、本日お配りしております「平成 2 7 年教育委員会第 3 回臨時会説明委員名簿」のとおり、教科用図書選定資料作成委員会委員長、副委員長及び担当委員を説明員として出席させますので、ご了解願います。

第 3 5 号議案 平成 2 8 年度使用中学校用教科用図書の採択について

高木宏幸教育長 第 3 5 号議案についてでございますが、採択時には、秘密会にしたいと思いますが、委員の皆様、いかがでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり)

高木宏幸教育長 ご異議がないようでございますので、第 3 5 号議案の採決につきましては、秘密会とさせていただきます。それでは、第 3 5 号議案につきまして、三浦指導課長より説明

させます。

説明員 第35号議案、平成28年度使用中学校用教科用図書の採択について申し上げます。

提案理由について申し上げます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定により、市立中学校において使用する教科用図書を別紙「平成28年度使用中学校用教科用図書採択に係る発行者一覧」から採択する必要が生じたために、審議をお願いする次第でございます。

これまでの経緯等について、その概略をご説明申し上げます。

草加市立小中学校使用教科用図書の採択に関する要綱第5条に基づき、教科用図書選定資料作成委員会は、教科用図書調査研究専門部会及び学校の調査研究結果、教科用図書展示会におけるアンケートを参考に協議及び検討を行いました。教科用図書調査研究専門部会では、学習指導要領の目標や内容を踏まえ、県の通知文「市町村の教育委員会等が教科用図書を採択するに当たっての採択基準」、及び「平成28年度使用中学校用教科用図書調査資料」等を十分活用し、各教科書について具体的に調査研究をいたしました。

平成27年度における教科用図書展示会につきましては、草加市立中央図書館を会場として6月19日から7月4日までの14日間、開催させていただきました。保護者一般299名、学校関係者272名、教育委員会等関係者6名、計577名の方が閲覧くださいました。

この後、教科用図書選定資料作成委員会委員から、各教科についてご説明させていただきますが、各種目では、まずは草加市の生徒の実態について説明後、草加市の生徒の実態を踏まえての観点についてご説明いたします。その後、各発行者の特色、特徴等について、目録の発行者順にご説明いたします。説明の際には、各発行者の報告する特色や特徴がよく表れている学年を選びまして、教科書をご覧いただきながらご説明いたします。そのサポートには、各教科担当の指導主事等が入ります。説明は以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今説明が終わりました。ここで、第35号議案の進め方につきまして、委員の皆様にお諮りしたいと思います。まず、各教科の担当委員から説明を受けます。その後、質疑を行います。教科ごとにそれを繰り返す、説明終了後、一旦休憩に入り、最後に採択を行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり)

高木宏幸教育長 それでは、早速、教科ごとの説明に入らせていただきます。説明員の方、お入りください。

< 国語・書写 >

説明員 国語科の教科書についてご説明申し上げます。

草加市の生徒の実態でございますが、草加っ子の基礎・基本を重点として、各中学校で指導を積み重ねていますが、全国学力・学習状況調査の結果から、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の基礎・基本の内容については身に付けていることがうかがえます。しかしながら、「話す・聞く」において、目的に沿って話し合い、互いの意見を検討することや、「書く」において、根拠を明確にして自分の考えを書くこと、「読む」において複数の資料から必要な情報を読み取ること、また、古典に親しむこと、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと等に課題がありました。

草加市の生徒の実態を踏まえての観点についてでございますが、言語活動を豊かにする工夫、学校図書館の活用や読書指導の工夫、伝統的な言語文化、古典の指導の工夫と設定いたしました。

次に、各発行者の特色・特徴等についてご説明申し上げます。

国語科につきましては、各発行者の第1学年及び第3学年のものを例に取って、言語活動の工夫としてのスピーチの取組例、また、伝統的な言語文化、古典の取組として草加っ子が親しみやすい「おくのほそ道」を例に説明させていただきます。

東京書籍につきましては、第1学年115ページをご覧ください。「具体例を挙げて伝えよう」というスピーチ活動で、題材としてことわざを取り上げております。学習の流れを提示して見通しを持たせ、次ページ以降で発音、発声の練習や、選んだことわざについての交流、構成メモの作り方、そしてスピーチ活動へとつなげています。

次に、第3学年、135、136ページをご覧ください。「おくのほそ道」の冒頭を2ページにわたって配置しています。上段に原文を大きめの字で、中段に色を変えて現代語訳を、下段に語釈を配置しています。また、137、138ページにある旅程図は折り込み式で、写真入りで俳句を紹介し、裏面には江戸から平泉までの旅程の資料を掲載しています。発展学習として143ページにありますように、「おくのほそ道」の表現の特徴について話し合う活動を取り入れております。

次に、学校図書につきましては、第1学年43ページをご覧ください。自分のお気に入りについて紹介し合うスピーチ活動です。学習の見通しを提示した後、次ページ以降で具体的な話題や構想メモが図で示され、また、スピーチメモや聞き手のメモの例が示されております。その後、コメントを交流する活動につなげています。

第3学年、178ページをご覧ください。「おくのほそ道」について導入文の後、冒頭部を179、180ページにまとめて配置しています。上段に原文を太字で示し、中段に現代語訳、下段に語釈を配置しています。行程につきましては183ページでございますように、俳句の紹介を多く示しております。また、発展学習として184ページにありますように、芭蕉に短い手紙を書く活動を取り入れております。

次に、三省堂につきましては、第1学年、25ページをご覧ください。「聞き上手、話し上手になるために」という単元を設け、次ページ以降で、「話す・聞く」のスキルをアップさせるために、クラスやグループでのスピーチ実験を取り入れております。その後、紹介したい人物や大切にしているものをテーマにしたスピーチ活動につなげております。

第3学年118、119ページをご覧ください。「おくのほそ道」の冒頭を見開き2ページで提示し、上段に原文を大きめの字で、中段に現代語訳を青字で、下段に語釈を配置しています。122ページにありますように、行程図は半ページでまとめております。発展学習として123ページにありますように、「おくのほそ道」から1句を選んで紹介し合う活動を取り入れております。

次に、教育出版につきましては、第1学年、42ページをご覧ください。情報を分かりやすく伝えるためにフリップを用いて報告するという活動を取り上げております。43ページには、通学安全マップの例や構成の例を、44ページにはスピーチの例文を提示しております。

第3学年、104ページをご覧ください。「おくのほそ道」の導入文を提示した後、旅程図を106、107ページに見開き2ページ、俳句を写真入りで紹介しております。草加の地名も記載されております。冒頭につきましては、108ページに1ページでまとめ、上段に原文、下段に現代語訳を配置しております。発展学習として113ページにありますように、印象に残った俳句の紹介文を書く活動を取り入れております。

最後に、光村図書出版につきましては、第1学年、56ページをご覧ください。「好きなものを紹介しよう」という活動を取り上げております。57ページからは、クラスの生徒に向けてどうスピーチを組み立てるべきか、スピーチメモの例を示すとともに、実際の場面の写真や絵、スピーチの例文をもとに、見通しを持って主体的に学習できるよう工夫しております。また、スピーチの前と後に交流の場を設け、言語活動の充実が図れるようになっております。

第3学年、146、147ページをご覧ください。「おくのほそ道」の冒頭を見開き2ページで提示し、上段に原文を太字で大きく、中段に現代語訳、下段に語釈を配置しております。行程につきましても、148、149ページで見開きで示し、生徒の興味が高まるように俳句の

イメージを写真入りで紹介しています。草加の地名も記載されております。発展学習として154ページにありますように、古典の言葉を引用したメッセージを身近な人を書くという、生徒が古典に親しみの持てる言語活動の具体例を取り上げております。以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今、国語についての説明が終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

小澤尚久委員 学校図書館の活動や読書指導の工夫ということで生徒の実態等の観点に挙げられているところがあるのですが、最近の活字離れ、本離れのことを考慮して、本市の実態を踏まえて学校図書館の活動、読書指導の工夫について各発行者で有効と思われるところについて教えていただければと思います。

説明員 草加市では朝読書を取り入れる等、学校図書館の充実、読書活動には充実した取組を行っています。各発行者も、図書館の使い方や読書紹介等で読書を推奨しております。単元ごとに並行読書を紹介したり、まとめて読書案内やブックトークのページを設定したり、読書指導の工夫も各発行者に見られます。

小澤尚久委員 ここは特徴的、と思われるものはございますか。

説明員 発行者それぞれに特徴がございます。

高木宏幸教育長 いずれの発行者においても、学校図書館の活用とか、読書をしたい、あるいはさせたいというような、そういう工夫がされているということですか。

説明員 はい。そのようになっております。

村田悦一教育長職務代理者 特に学び方というのでしょうか、発行者によって、学習の流れで特徴的なものは出ているのか。あるいは、基本的にはやはり国語のそういうひとつの流れの中で、各教科書とも記載をされているのか。特徴的な学習の流れとか、学習の仕方になっているところがあれば教えていただけますか。

説明員 学び方についての特徴ということでは、各発行者それぞれ言語活動ということを取り入れて充実させております。どの発行者も子どもたちの理解が深まるように目標を設定し、流れを示して、言語活動が充実できるように進めております。

宇田川久美子委員 日本語を大事にするということから話し合いをするということは、とても大事だと思います。東京書籍の3年生の184ページから195ページにあります「いつものように新聞が届いた」という、メディア的な役割について11ページにわたって取り上げているところがあるのですが、そこで私は、初めて「死者」という言葉と「犠牲者」という言葉を大切に扱っているところを読んで、自分自身も今まで読んでいて気付かなかったと

ころなのですが、そういう意味で、言葉を大切にしているような特徴がそれぞれあったら教えてもらえますか。

説明員 委員さんがおっしゃられた、この東京書籍も含めまして、全ての発行者において、言葉を大切に編集はされておりました。

宇田川久美子委員 震災を扱って、10ページ以上でというところはすごく特徴的だなと思ったのですが、他にそういう震災を扱ったような部分はいかがでしょうか。

説明員 各発行者、いろいろ災害教育等につきましては取り上げてはおります。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。それでは、続いて書写のご説明をお願いします。

説明員 書写の教科書についてご説明申し上げます。

草加市の生徒の実態でございますが、草加っ子の基礎・基本をもとに、各中学校では、書く姿勢や筆記用具の持ち方、書体の違いに留意して文字を正しく書けるよう指導しております。市内硬筆展や書き初め展など、競い合う場を設けての意欲の向上や日常生活の中での書写の技能の向上に学校ごとに工夫していることがうかがえます。しかしながら、書体の違いに考慮して字形や筆順、配置等に気を付けること、また、書写の時間に習得した知識や技能を日常生活における文字を書く場面にかすことが課題となっております。

草加市の生徒の実態を踏まえての観点についてでございますが、学年間の系統的、計画的な指導との関連についての工夫、硬筆と毛筆との関連についての工夫、目的に合わせて文字を整えて書くことについての工夫と設定いたしました。

次に、各発行者の特色、特徴等についてご説明申し上げます。書写につきましては、各発行者の筆使いの習得のページと学校生活で多く用いられている新聞やポスターなど、掲示物の書き方を紹介したページを例に取って説明させていただきます。

東京書籍につきましては、12、13ページをご覧ください。楷書の基本点画について見開き2ページで示しています。横画や縦画、折れなどの9つの基本点画を「トン」「スー」「ピタッ」と、生徒がイメージしやすいオノマトペ、擬音語を使って示しています。筆圧については、穂先の状態を絵図で示すとともにポイントが説明されており、生徒の理解を助けています。

44ページをご覧ください。職場訪問で学んだことを新聞形式でまとめた生徒作品を例に挙げております。この新聞の詳しい書き方を101ページで説明しています。101ページをご覧ください。新聞の基本的な書き方とポイントを端的に示して、生徒が新聞を作る際の参考になるようにしております。

次に、学校図書につきましては、11ページをご覧ください。基本的な点画の復習につつまし

て、小学校で学習したことの復習という形で1ページで示されています。点、右はらい、縦画などの8つの点画の基本について、「はねる」「はらう」「とめる」など、ポイントを端的な語句で示しております。

続いて86、87ページをご覧ください。「書写を生活に生かそう」という単元を設け、修学旅行新聞や色紙を題材に、いろいろな筆記具の活用について説明しています。題名や大見出し、リード文、小見出し、本文について示すとともに、実際の生徒作品を示して、相手に伝えるための工夫をイメージしやすくしております。

次に、三省堂につきましては、9ページをご覧ください。「筆使いを確かめよう」ということで9つの基本的な点画の筆使いを1ページで示しています。それぞれの点画について穂先と筆圧のポイントを説明し、生徒の理解を助けています。また、毛筆で書くときの3つのポイントとして、穂先、軸、筆圧について絵図を示して説明しています。

さて、新聞形式につきましては40ページをご覧ください。本の紹介として、はがき新聞を一例として挙げています。続いて72ページをご覧ください。このページでは掲示物、校内合唱コンクールのポスターを例に挙げて、どのように書き方を工夫するのかを考えさせています。ワークシートを使って書く内容や用紙、筆記具を決めたり、83ページにありますようにレイアウトの工夫を分かりやすく説明したりしています。

次に、教育出版につきましては、12、13ページをご覧ください。基本点画の種類と筆使いについて見開き2ページで示し、小学校での学習を振り返っています。筆圧の違いを1の力、2の力、3の力で示し、生徒が実感できるよう、実際の筆使いの写真で示しています。また、実際の漢字を例にした部分を示しながら、9つの基本点画についてポイントを示しています。

続いて、96ページをご覧ください。目的や必要に応じて効果的に伝えることを目標、新聞形式での地域を紹介する学習を取り上げています。文字の大きさや割り付けの工夫、筆記用具の使い分けなど、読みやすく書くポイントの説明があり、生徒がイメージしやすい内容となっております。

最後に、光村図書出版につきましては、6、7ページをご覧ください。点画の種類と筆使いについて、小学校で学習したことを確認しながら見開き2ページで示しています。筆圧と線の太さについては、1の力、2の力、3の力の違いを生徒が実感できるよう、実際の筆使いの写真で示しています。また、全ての例にこの1、2、3と筆圧を示すとともに、実際の漢字を例にした部分を丁寧に示すことで生徒がイメージしやすく、系統的で確実な基礎・基本の習得を目指しております。

続いて72ページをご覧ください。新しい情報をより多くの人に伝えたいという目的で、職場訪問を題材にした職場訪問新聞を取り上げています。生徒の作成した実物の新聞をもとに、「見出し」「リード文」「記事」という新聞の3要素について理解を深めるとともに、文字の大きさや目立たせ方、図や表を用いたレイアウトなど、読みやすく整えて書くために、大変参考になると思われます。以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今、書写についての説明が終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

村田悦一教育長職務代理者 先程の話で、課題となっているのが、知識や技能を日常生活で文字を書く場面にいかす、社会生活とのつながりということで、社会生活に役立つ学習のための教材数的なものとしては、各発行者どのような状況になっていますか。

説明員 社会生活にいかすということで、資料等で各発行者扱っており、充実したものを各発行者が取り上げています。

村田悦一教育長職務代理者 埼玉県教育委員会から出ているものでは、かなり差が出ているような感じがします。それから、視点としてやはり硬筆と毛筆との関連を図った教材数、これも県の教育委員会から出ていますが、やっぱりちょっとその差があり、それは各発行者の、いわゆる工夫になると思うのですが、私はさっき国語でも、学習、学び方という形でお聞きしたのですが、書写の学び方、これは各発行者どのような形で書写を学んでいく、あるいはこういう学び方があるという形で示しているのでしょうか。

説明員 学び方につきましては、各発行者、毛筆を基本事項にしまして、その後、硬筆に結び付けるという形で学び方を工夫しております。その後、日常生活にこの書写で習得した知識や技能をいかせるようにということで工夫しているものがあります。

村田悦一教育長職務代理者 硬筆、毛筆との関連の学び方で、私はやはり硬筆は硬筆の学び方、毛筆は毛筆での学び方があると思うんですね。そういう形でいきますと、私もかなり見ましたが、教育出版の8ページに学習の進め方という形ではっきり出ているのですが、これが目標を示して、「考えよう」、また教科書との文字の比べ、そして「生かそう」、「振り返ろう」。私の書写の経験ですと、いわゆるお清書という形で最後書いて終わりというのがこれまでの昔の習字だったのかなと。今はもう硬筆、毛筆の時間では清書という言葉は使わないということ最近聞いたのですが、要するに清書したらもうそこで終わりですから、次にいかすことがない。これはPDCAの学習スタイル、自分で計画を立てて、目標を立てて、やってみて、次にどう改善していくのか、そういうものがやはり書写の中でもいかされているということ、他で

も同じような形ですが、目標を決めて、はっきりと4つの段階で示しているところ、ここが特徴的なのかなと感じます。

あと、もう一つ、観点で目的に合わせて文字を整えて書くことについての工夫ということで、先程は筆使いとか掲示について説明があったのですが、具体的にはどんなことが大切で、あるいはこの教科書ではどんなところだというものがありましたら教えていただけますか。

説明員 目的に合わせて書くということで、書写の時間で習った技能、知識を学校生活や日常生活の中で文字を書くときにいかせるように、そういう工夫が各発行者に盛り込まれております。

村田悦一教育長職務代理者 そういう意味では、教育出版は最初にはっきりと目的に合わせて書こうという形で、掲示物、ノート、メモ、手紙、色紙、短冊、それがどういう形で目的があってというように出ています。各発行者出ているのですが、やはり最初にこのように、書写の一番のねらい、学習指導要領にも出ていますが、目的や必要に応じてとか、身の回りに多様な関心を持って、効果的に文字を表現する、そういうことが分かりやすく出ている。その辺のところは書写では私は大事なのかなという気がいたします。

宇田川久美子委員 国語の教科書と書写というのは、今、草加では同じ発行者を使っていますが、関連性というのはどうでしょうか。各発行者、連動されている部分はありますか。

説明員 同じ発行者ですので、連動する部分もあれば、連動していない部分もありますが、各発行者で工夫はしています。

宇田川久美子委員 同じ発行者を使うことによる利点はありますか。また、違うところにしたときの不利な点はありますか。独立しているものであれば問題はないと思うのですが、連動しているからここが良いみたいなどころはありますか。

説明員 確かに、書写と国語の教科書の連動ということについては、各発行者で別の内容を取り扱っていることが前提ですので、連動していなくても大丈夫と思います。ただ、実際、子どもたちが使うとなるのであれば、指導しやすい、学習しやすいという意味では、同じ発行者のほうが学習しやすいということもあります。

宇田川久美子委員 例えばどんな点ですか。

説明員 例えば、国語の教科書に載っていた文言が書写の事例で使われていたりすると、子どもにとっては親しみやすいと思われます。

加藤由美委員 各教科書で題材が沢山あるのですが、実際、授業の中でどれぐらいの割合で使われているのでしょうか。例えば、手紙の書き方とかあるのですが、実際、授業の中でお手

紙を書いたりとか、はがきを書いたりということはやっているのでしょうか。

説明員 各学校で年間指導計画を作成しておりまして、それに基づいて教材としてこういう教科書の作品等を利用しているというのがうかがえます。どれくらいかとなりますと、各学校で軽重はありますが、取り扱っております。

宇田川久美子委員 小学校のときの書き方と、中学校の書写とは、基本的にどんな違いがあるのですか。

説明員 小学校は、文字等を正しく書くのを目標にしております。中学校では、やはり書体の違いに注意して字形や筆順、配置等に気を付けて書く、あるいは学んだ知識をいかして目的に応じて書けるようにするというのがねらいでございます。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。

それでは、次の教科に入ります。説明員の方、お入りください。

<地理・歴史・公民・地図>

説明員 社会科の教科書についてご説明申し上げます。

草加市の生徒の実態でございますが、作業的な学習や調べ学習には意欲を示しますが、調べた内容から自分の考えを持つことや、自分の言葉で表現する力、また、資料を読み取り、それを活用して多面的、多角的に考察する力が課題でございます。

草加市の生徒の実態を踏まえての観点でございますが、地理的分野、歴史的分野、公民的分野、地図について、それぞれ次のように設定いたしました。地理的分野ですが、地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫。歴史的分野ですが、資料や知識に基づき多面的、多角的に考察する工夫。公民的分野ですが、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫。地図ですが、地理的な見方、考え方の工夫といたしました。

中学校社会科の学習指導要領の目標にもありますとおり、社会科は広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的、多角的に考察することが大事であり、教科用図書はそのための手段として使用いたします。つまり、学習課題を解決するために資料を適切に収集、選択、処理、活用し、それらの資料に基づいて多面的、多角的に考察し、公正に判断する態度を身に付けさせることが大事です。したがって、教科用図書がどのような資料を掲載し、いかに生徒に多面的、多角的に考えさせることができるのかがポイントになると思われま

す。

それでは、最初に地理的分野について申し上げます。各発行者の日本の山地や平野、河川に

ついて記述している単元を例に取ってご説明申し上げます。まず地理的分野については、各発行者とも見開き2ページが1時間の内容となっており、問題解決学習の構成となっております。学習課題が左上、学習内容の振り返りが右下に設けられております。振り返りについては、各発行者で特色があります。2段階で更に深めるように設定されているものもあります。

まず、東京書籍ですが、144ページから147ページをご覧ください。この単元では写真資料が多く、地形の様子がよく分かります。147ページの扇状地と三角州は写真と地形図を並べて掲載するなど、イメージを持ちやすく、地理的な見方の基礎が学習できるという工夫がされています。147ページの上に掲載されている地形の分類表も特色です。教科書全体を通して、写真、地図、表、グラフ等が豊富に掲載され、さらに、それぞれの資料についての説明が詳細で、読図や作図などの技能を高め、調査学習を進める上での資料が充実しています。

次に、教育出版ですが、140ページをご覧ください。地図などの資料が大きく、見やすいのが特色です。140ページの扇状地や三角州、リアス式海岸など、代表的な日本の地形を示す写真が効果的に掲載されており、イメージが持ちやすくなっております。教科書全体を通して写真、地図、表、グラフ等が豊富に掲載され、見開き2ページの左上の導入資料には「見よう」というコーナーで詳細に資料が説明されています。

次に、帝国書院ですが、134ページから137ページをご覧ください。写真資料が大きく見やすいので、地形の様子がよく分かります。137ページには写真とイラストから、扇状地とその利用、三角州等の利用について、解説が効果的に掲載されています。教科書全体を通して、写真、地図、表、グラフ等が豊富に掲載され、「資料活用」というコーナーで資料に関する問題を提示し、資料のポイントとなる点を押さえています。

最後に日本文教出版ですが、134ページをご覧ください。地図が大きく見やすくなっております。134ページに扇状地、三角州の写真が掲載されています。漫画のキャラクターが具体的な学習課題をコメントしています。また、日本の全山脈、山地、及び全ての平野を掲載しているのが特色です。教科書全体を通してでは、「スキルUP」というコラムで地理的学習を進めるに当たって必要な技能を系統立てて習得できるように構成されています。

次に、歴史的分野について申し上げます。歴史的分野については、各発行者とも鉄砲とキリスト教の伝来について記述している単元を例に説明いたします。歴史的分野については、各発行者とも見開き2ページが1時間の内容となっており、問題解決学習の構成となっております。そのうちの1発行者が、2章からは生徒自らが課題を設定して取り組むように構成されています。学習課題が左上、学習内容の振り返りが右下に設けられております。振り返りについては

各発行者で特色があります。2段階で更に深めるように設定されているものもあります。

まず、東京書籍ですが、104ページをご覧ください。南蛮人渡来図屏風や火縄銃、ザビエル肖像画など、2ページで7つの資料が掲載されております。他の発行者との比較では、キリシタン増加のグラフが特色となっています。それぞれの資料についての説明が詳細で、1單元ごとのメインの資料についても案内役の人物が資料についての問題を提示しています。104ページの下には、時代のスケールが掲載され、どの時代になるのかが分かるように工夫されています。教科書全体を通してでは109ページに掲載されているように、「歴史にアクセス」のミニコラムや、「私たち歴史探検隊」「深めよう」など、多種多様な資料を計73のテーマを随所に掲載しております。

次に、教育出版ですが、94ページをご覧ください。南蛮人渡来図屏風や火縄銃、ザビエル肖像画など、東京書籍と同じく2ページで7つの資料が掲載されております。他の発行者との比較では、キリスト教の広まりの図が特色です。それぞれの資料についての説明が詳細で、さらに小学校で学習した人物資料と中学校で学習する人物資料の違いを表示しています。94ページの課題の上には、世紀を表したスケールが掲載されています。教科書全体を通してでは、「郷土の歴史を探ろう」5テーマ、「資料から歴史を探ろう」5テーマなど、見開き2ページの特設コーナーで資料を計49テーマ掲載しているのが特色です。

次に、清水書院ですが、98ページをご覧ください。南蛮人渡来図屏風や火縄銃、ザビエル肖像画など、2ページで5つの資料が掲載されております。資料の中にコラムが掲載されています。教科書のサイズは他の発行者と比べると小さいため、資料も比較的コンパクトにまとめられています。単元タイトルの横に学習のめあてとなる課題を明示しています。さらに、学習した内容を文章でまとめたり、表に整理するための課題を最後に示しています。教科書全体を通してでは、「もっと知りたい歴史」や、107ページをご覧ください。「歴史のとびら」「地図で見る世界史」など、ミニコラムを中心にしてさまざまな資料を計43テーマ掲載しております。

次に、帝国書院ですが、90ページをご覧ください。南蛮人渡来図屏風や火縄銃、ザビエル肖像画など、2ページで6つの資料が掲載されております。他の発行者との比較では、銀の動きの資料が特色です。90ページ、91ページには地域の歴史を紹介した「地域史」というコラムが掲載されています。教科書全体を通してでは、72ページにある「タイムトラベル」では、見開き2ページを使って時代のイラストが描かれ、本文との関係が分かるように記載されています。ミニコラムを始め、さまざまなコラムを計80テーマ掲載しております。

次に、日本文教出版ですが、104ページをご覧ください。南蛮人渡来図屏風やザビエル肖像画など、2ページで4つの資料が掲載されております。他の発行者との比較では、鉄砲・キリスト教と信長との関係地を示した図が特色です。また、104ページの左側には、縦に時代と世紀のスケールが掲載され、この単元がどの時代なのか分かるように工夫されています。単元のメインになる資料について、案内役が資料の内容について問題を出しています。教科書全体を通してでは、181ページをご覧ください。「でかけよう地域調べ」「歴史を掘り下げる」「プラスアルファ」など、特設コーナーやミニコラム等、計58テーマの資料を掲載しております。

次に、自由社ですが、114ページをご覧ください。南蛮人渡来図屏風や火縄銃、ザビエル肖像画など、2ページで5つの資料が掲載されております。教科書のサイズが小さいため、資料は比較的コンパクトになっております。単元タイトルの下に、その時間で学習する内容の見通しを持つための課題を明示してあります。単元の学習で押さえておきたい要点を問題形式にして示しています。教科書全体を通してでは、121ページをご覧ください。「もっと知りたい」「人物クローズアップ」「外の目から見た日本」など、見開き2ページの読み物資料を中心に、計35テーマ掲載しています。人物に焦点を当てた資料が多くあります。

次に、育鵬社ですが、106ページをご覧ください。南蛮人渡来図屏風や火縄銃、ザビエル肖像画など、2ページで5つの資料が掲載されております。107ページには、「歴史にビューー」があり、本文の内容に関わる事項について解説しているところは他の発行者とは違う構成になっています。教科書全体を通してでは、各章の導入ページとして「歴史的絵巻」があり、これからの時代の学習の大きな流れを読み取ることができ、さらに本文との関係も示されています。単元内容をより詳細に発展させた読み物資料が特徴で、128ページをご覧ください。「歴史ズームイン」「人物クローズアップ」「なでしこ日本史」など、計64テーマ掲載されています。

最後に、学び舎ですが、96ページをご覧ください。南蛮人渡来図屏風や火縄銃、ザビエル肖像画など、2ページで5つの資料が掲載されております。単元のタイトルの上に大きな資料があり、この資料を第1セクションとして、ここから感じたり疑問に思ったりしたことを出し合い、課題を立てるような構成になっています。この資料は大体が人々の姿が中心となっています。98ページにあるような「フォーカス」という歴史の舞台に焦点を当てたコラムが掲載されています。教科書全体を通してでは、まず、大きさが発行者の中で一番大きく、文字や資料等も大きく、見やすいです。第1章は学習課題が記載されていますが、第2章以降は生徒の

疑問から設定するような工夫がされています。6部10章から成り、章の初めと終わりには資料が掲載されています。294ページからの年表は、詳細に記されています。地理と歴史については以上です。

高木宏幸教育長 ただ今、地理と歴史についての説明が終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

宇田川久美子委員 歴史のほうで、教科書によって戦争に対する認識が違っているように思えますが、その辺の調査等はどうか。

説明員 戦争中の史実に関することについては非常に難しい問題でありまして、論争中の歴史的な事柄もあります。どの立場で史実を記述するかも変わってきます。そのため、専門部会では、全て検定済みの教科書であることから、そうした記述の違いについては特に取り上げて比較するようなことはやっておりませんでした。

小澤尚久委員 資料を活用して多面的、多角的に考察するというところ、主眼として挙げられていると思うのですが、今説明した中で結構ですので、もう少し詳しく、こういうところが特徴的だとか、こういうところが効果的というところがありましたら教えていただければと思います。

説明員 歴史の分野につきましては、それぞれの教科書で工夫されているところがたくさんあります。資料につきましても、それぞれの発行者によって違っておりまして、例えば東京書籍ですと、「歴史スキルアップ」4テーマ、それから「調査の達人」が13テーマ、「歴史にアクセス」30テーマ、「女性コラム」7テーマ、「深めよう」13テーマ、「私たち歴史探検隊」6テーマ、合計73テーマというようなところで、ミニコラムを始め、様々なコラムを掲載しております。

同じように教育出版も全部で49テーマ。これはミニコラムではなくて、見開き2ページの特設のコーナーを作っています。

清水書院のほうは43テーマ。これもミニコラムを始め、様々なコラムを掲載しています。

帝国書院につきましては合計80テーマ。これはミニコラムが中心となっています。ミニコラムというのは比較的小さい、見開きというのは大きくとらえていく見方の資料の提示の仕方ということで考えていただければと思います。

日本文教出版は58テーマで、ミニコラムを始め、様々なコラムを掲載しています。

自由社は35テーマ、見開き2ページの読み物資料が中心となっています。

育鵬社につきましては、64テーマ。ミニコラムを始め、様々なコラムを掲載しているとい

うような形で、それぞれの発行者によって特徴があるのですけれども、資料を折り込んでいるというところはあると思います。

小澤尚久委員 使い方にもよるのでしょうかけれども、このコラムというのがいろいろな見方、考え方を養っていくのに有効であるということはまず一つ言えると。

説明員 はい。資料を活用していくということはあると思います。

村田悦一教育長職務代理者 社会科の学び方としては、やはり問題解決学習ということが言えると思います。特に資料の活用ということでは、生徒の立場からの資料活用、また、教師の立場から言うと、どう資料を活用させるのか、といったことがあります。その教科書の良さをどう伝えていくことができるのか、教師の課題にもなっていくと思います。そうすると、特に社会科では教科書以外にも掛図とかいろいろなものがあると思うのですけれども、そういうものは各発行者で違うのか、あるいは同じようなものが出ているのか。例えば、電子教科書とか、そういうものの過渡期にあると思うのですが、特に社会科、いろいろな資料が各発行者出ていると思いますが、その辺について特に分析とか情報はないのでしょうか。

説明員 発行者からの、教科書以外の資料については分析しておりません。

村田悦一教育長職務代理者 教師が指導しやすいというか、より資料の活用ができるような形での、工夫については同じなのか、それとも差がありますか。

説明員 それほど大きな差はないと思います。その資料を使いながらどのような課題を設定して問題解決していくかというような形で活用していくことは可能だと思います。

宇田川久美子委員 教科書のサイズが大きいものと、小さいものがありますが、大きさを変えていることには理由がありますか。資料が多くあったほうが良いのであれば、大きいほうが見やすいように思うのですけれども。

説明員 専門部会でもそれは話題になりまして、大きいほうが見やすいだろうけれども、あまり大きく、厚いとそれもどうなのかなという話もありますし、6時間授業あるわけですから、教科書6冊持っていくのは、子どもたちはかなりの重さになるという話も出ました。大きさについては、大きいほうが見やすいということはあるのかもしれませんが、ただ、その中に適切に資料が掲載されていれば、どの教科書も同じように活用することは可能だと思います。

宇田川久美子委員 子どものことを考えると、小さいほうが持ち運びしやすいということでしょうか。

説明員 そういう意見も出てきましたが、必ずしもそのような理由でそれが良いというわけでもありません。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。それでは、続いて公民と地図のご説明をお願いします。

説明員 公民的分野について申し上げます。

各発行者とも地方自治について記述している単元を例に説明いたします。公民的分野につきましては、各発行者とも見開き2ページが1時間の内容となっており、問題解決学習の構成となっております。課題が左上、学習内容の振り返りが右下に設けられております。振り返りについては、各発行者に特色があります。2段階で、更に深めるよう設定されているものもあります。

それでは、まず最初に東京書籍ですが、102ページから109ページをご覧ください。写真資料を中心に図、グラフ、表など、4時間の扱いで27の資料が掲載されております。

102ページの「公民にアクセス」、107ページの「公民にチャレンジ」は、学習内容を深め、主体的に学習を進めることができるための資料となっております。教科書全体を通してでは、資料が豊富で、章の初めにはその章を特徴づける資料を掲載し、話し合い活動を通して公民として必要な基礎的な事項について考えさせるような構成になっています。

次に、教育出版ですが、106ページから113ページをご覧ください。グラフ資料を中心に写真、図、表など、4時間の扱いで25の資料が掲載されております。109ページには、「公民の窓」があり、単元の学習に関連している資料を掲載しています。教科書全体を通してでは、114ページの「言葉で伝え合おう」のように、表現力を育成するための効果的な資料が掲載されているのが特色です。また、特に重要なグラフ等の資料には、「読み解こう」を設け、資料を読み解く手掛かりを示しています。

次に、清水書院ですが、86ページから89ページをご覧ください。写真、図、グラフ、表など、2時間の扱いで九つの資料が掲載されております。教科書全体を通してでは、教科書が小さいため資料はコンパクトにまとめられております。84ページの「もっと知りたい公民」では、学習に関連する資料から、更に興味や関心を広げることができたり、90ページの「深める公民」では、学習に関連するテーマを掘り下げ、知識と理解を深めるための資料となっております。このような見開きの特設コーナーでの資料掲載が特色となっております。

次に、帝国書院ですが、88ページから95ページをご覧ください。写真資料を中心に図、グラフ、表など、4時間の扱いで26の資料が掲載されております。88ページの「クローズアップ」のコラムのように、最初のコラムを単元の課題とともに掲載し、導入や学習課題で活用できるように工夫されています。教科書全体を通してでは、30ページのように、各部の初

めにイラスト等を見ながら、身近な出来事と結び付けて考えさせ、各単元の問題解決学習へと入っていくような構成になっています。

次に、日本文教出版ですが、86ページから93ページをご覧ください。写真資料を中心にグラフ、図、表など、4時間の扱いで26の資料が掲載されています。また、各単元や学習課題のほかに、導入時に使用することができる資料の中にも、課題を提示しているのが特徴です。本文の下には、地理的・歴史的分野との関連について記載されています。教科書全体を通してでは、94ページの「明日に向かって」や、84ページの「情報スキルアップ」のように、特設ページで解説する資料や、「公民プラスアルファ」「アクティビティ」のようなミニコラムなど、多種多様な資料を掲載しています。

次に、自由社ですが、102ページから105ページをご覧ください。写真資料を中心にグラフ、図、表など、2時間の扱いで13の資料が掲載されています。教科書全体を通してでは、教科書が小さいため資料はコンパクトに配置されています。100ページの「もっと知りたい」、184ページの「課題の探求」のように、写真や図表を示し、見開き2ページの読み物資料を掲載しています。また、各章のまとめでは、単元の重要語句を提示し、学習の発展では文章でまとめるようなテーマが示されています。

最後に、育鵬社ですが、112ページから117ページをご覧ください。写真資料を中心にグラフ、図、表など、2時間の扱いで15の資料が掲載されています。一単位ごとに中心となる資料は、案内役の人物が資料の問題を提示しています。教科書全体を通してでは、118ページの「やってみよう」のように、見開きの2ページを使ってテーマを掘り下げて解説したり、80ページの「理解を深めよう」のように、学習内容を深化させるための資料が掲載されています。

次に、地図について申し上げます。各発行者とも北アメリカ州について記述している単元を例に説明いたします。

まずは東京書籍ですが、57ページから63ページをご覧ください。基本図では、縮尺や図法、北アメリカ州の地球上の位置や国々の国旗を明記しています。資料については基本資料とテーマ資料とを区別しており、基礎・基本として押さえるべき知識としての資料と、問題解決学習として活用する資料とを明確に区分しているのが特色です。59ページ以降の北アメリカ州の資料をご覧くださいと分かります。全部で22の資料が掲載されていますが、61ページの「アメリカ合衆国の農業」、63ページの「さまざまな民族が住むロサンゼルス」のように、写真資料も掲載されています。

次に、帝国書院ですが、59ページから65ページをご覧ください。基本図では、東京書籍と同じように、縮尺や図法、北アメリカ州の地球上の位置や国々の国旗を明記しています。必ず同緯度、同経度、同縮尺の日本を掲載しているところが特色です。60ページの北アメリカ州の地図をご覧ください。ニューヨークは青森県と同緯度であることが分かります。また、「地図を見る目」を設け、地図を見る際のポイントを押さえています。資料については、最初に基本となる州の自然や生活、気温、降水量等の資料、その次に問題解決学習として活用する資料を掲載しております。61ページ以降の北アメリカ州の資料をご覧くださいと分かります。63ページの鳥瞰図や62ページの大規模農業の図、そして日本との結び付きを示す資料を必ず掲載しているところが特色です。また、話題のシェールガス田の分布などもあります。以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今、公民と地図についての説明が終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

宇田川久美子委員 育鵬社の教科書201ページに「再生可能エネルギーの利用」という単元で、「人類のエネルギー問題を根本的に解決するには、人工の太陽をつくり出す核融合発電の実用化を待たねばなりません」という記載がされていて、これは私の認識と違うので、この文章は読んで驚いたのですけれども、他の教科書とかでは、この辺の再生可能エネルギーの利用みたいなところは、どのような記載なのか。

説明員 再生可能エネルギーのところについての比較につきましては、専門部会では、先程の地方自治のところでは比較をさせていただきましたので、特に話題にはなりませんでした。

宇田川久美子委員 ちょっとこの文を読んで、「待たなければなりません」というのは、それぞれの見解ですけど、核をずっと持っていなくちゃいけないということを決めている文章のような感じがいたしまして、他の発行者について、この辺りの比較はされていませんか。

説明員 今回は、地方自治のところの比較ということでさせていただきました。

井出健治郎委員 公民の中で2点お聞きしたいことがあります。先程の地理と歴史については埼玉に関する事とか、残念ながら草加はなかったのですけれども、公民の個々の写真とか何でもいいのですが、その中で埼玉を取り上げているとか、草加が出てくるとか、そういう身近に感じられるものはあるのか。あるならどういう発行者があるのか。

もう1点、公民というどうしても、どちらかという政治とかそういうことが多いという印象がありますが、いつかは就職する企業のこととか、そういうことを結構取り上げているようなところがあるのかどうか。これが公民についての2点お伺いしたいことです。あとは、い

つも採択のときには問題になりますが、三つ、あるいは地図を入れると四つなので、いろいろな発行者を選択することに対してどういうイメージを持たれているか。

その大きく2点です。公民について1点と、あとは全体、先程、地理と歴史のときは聞きませんでした。公民と地図を含めた全体で、発行者が違うことに対してどうなのかというのを伺いできますか。

説明員 会社や企業の扱いについては、経済分野の中に含まれてはいますので、企業の在り方、日本の財政、あるいは地方公共団体の進め方と併せて扱っております。

それから、教科書がそれぞれ違うことによってというところですが、地理と歴史と公民と地図ということで四つあるわけですが、別々の発行者であっても大丈夫です。ただ、勉強の仕方としてみますと、1、2年生のときに地理と歴史を学びます。3年生のときには公民を中心に、若干歴史も学びますので、そういったときには同じ教科書であると扱いやすい部分があるのかもしれませんが、基本的にはばらばらの教科書でも大丈夫です。

宇田川久美子委員 地図については、埼玉県では現在は全部、帝国書院のものを使われていますが、これは理由がありますか。

説明員 特色につきましては、それぞれの発行者、例えば東京書籍の地図についても先程申し上げたとおりですし、帝国書院の地図についても同じように特色があると思います。

村田悦一教育長職務代理者 ここで選挙権が18歳という形で、義務教育は中学までですから、来年もし教科書を使って高校等へ進学をしなければ、そこでもう次の選挙になる。今回、そういう想定をした教科書があるのか。あるいはその辺のところは実際に公民として必要な教養ですから、選挙制度とかそういうものについては述べられていると思うのですが、現実には18歳になるという、あるいはそこで社会に出るといって、そういう形の中で教科書を見たときにはどうですか。

説明員 選挙権が自分に与えられて、自分の1票が国の政治を支える、もしくは変えていく、それから地方の政治を変えていくというところであると思うのですが、それはそれぞれの教科書で取り扱っています。例えば、模擬投票という形で模擬選挙を扱っているところもあります。国の政治、地方自治の中でも、選挙をする、そして私たちの声を国や地方に届けていくということは大切なことであるのだということは、選挙権が18歳になる前からずっと生徒は学習しています。選挙権が18歳になるということ踏まえ、引き続き教科書の資料を使いながら適切に学習していくことが必要ではないかと思えます。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。

他になければここで休憩を取りたいと思います。11時10分から再開したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(休 憩)

高木宏幸教育長 それでは、再開させていただきます。次の教科の説明をお願いします。

< 数学 >

説明員 数学科の教科書についてご説明申し上げます。

初めに、草加市の生徒の実態でございますが、草加っ子の基礎・基本、数学、検証問題においては、達成率は向上しています。全国及び県の学力・学習状況調査においては、全体的に全国及び県の平均正答率を下回る傾向にあります。特に、B問題、すなわち、数学を活用したり、根拠を明らかにしながら筋道を立てて考えたり、説明したりする力が弱い傾向にあります。基礎・基本をより確実に定着させるとともに、それらを活用して考えたり、数学的な言葉で表現したり説明したりする力をより高めることが課題であると考えています。

草加市の生徒の実態を踏まえての観点についてでございますが、このような実態から、「数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫」といたしました。

次に、各発行者の特色、特徴等についてご説明申し上げます。数学科につきましては、基礎・基本のより確実な定着と数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる工夫を中心に、各発行者の第3学年のものを例に取って説明させていただきます。

初めに東京書籍につきましては、まず24ページをご覧ください。そこでございますように、目標、Q、例、確かめ、問いの順に配列されていて、基礎・基本が確実に定着できるような問題が工夫されており、きめ細やかな指導がしやすくなっています。欄外の「もっと練習！」に補充問題があり、そのページの下に回答が示されているので、生徒が学習に取り組みやすくなっています。

次に、156ページをご覧ください。ここにあります「活用の問題」では、既習事項をもとに更に発展的に考えたり、活用したりすることで解決できる問題で、特に、事柄や事実、方法、理由などを説明する記述式の問題が取り上げられています。また、「数学のまど」では、社会や職業における数学の活用を取り上げています。

次に、大日本図書につきましては、初めに80ページをご覧ください。見開きの2ページ分が

1時間の授業に対応するように構成されています。この構成の仕方は、教科書全体にわたって、必ず左ページから授業をスタートすることができるので、学習に取り組みやすくなっています。

次に、172ページをご覧ください。ここにあります、章末の「もっと数学！」では、それまでに学習した内容を使うことにより、数学を活用して考えたり、発展的な課題に取り組みたりするように工夫されています。

次に、学校図書につきましては、初めに41ページをご覧ください。ここにあります「まとめの問題」では、これまでの学習を振り返りながら、基礎、応用、活用の順に問題が配列されており、基礎的な内容から活用の問題まで、見通しを持って進められるように工夫されています。

次に、236ページをご覧ください。「さらなる数学へ」では、日常的な課題や教科横断的な課題を設け、レポートの作成や発表の仕方、共同学習の進め方など、今までに学んだことを総合的に活用する内容を取り上げています。

次に、教育出版につきましては、初めに46ページをご覧ください。ここにありますように、各章の初めに「何章、何々を学習する前に」というコーナーを設け、問題形式で既習事項を振り返るよう工夫されています。基本的な内容を押さえ、その章の学習内容にスムーズに取り組めるよう工夫されています。

次に、238ページをご覧ください。ここにあります「数学で大切にしたい考え方」では、数学で使われるさまざまな考え方について、具体的に問題を解決する中で、それらの考え方が身に付けられるよう工夫されています。また、それらの考え方がどの問題で使われていたかページを示し、振り返ることができるようになっています。

次に、新興出版社啓林館につきましては、初めに17ページをご覧ください。問4の右側のところに、繰り返し練習のためのページが示されています。この例では、207ページとなっております。該当の207ページを見ると、さらに進んで取り組んだり、力を伸ばしたりするための問題が用意されています。

別冊の『Math Naviブック』をご覧ください。この別冊『Math Naviブック』には、全体を通してさまざまな形の問題や課題があり、生徒はいろいろな場面で数学を活用することができるように工夫されています。

次に、数研出版につきましては、初めに4ページをご覧ください。「出発前のクイックチャージ」では、今までに学んだ内容を振り返り、新しい学習内容が無理なく身に付けられるよう

に既習事項の確認と、そのためのドリルが用意されています。

次に、190ページをご覧ください。ここにございます「やってみよう」では、その章で身に付けた知識や考え方を活用して、身の回りの日常的な課題を解決し、数学の有用性が分かる活用場面などが設定されています。

最後に、日本文教出版につきましては、初めに92ページをご覧ください。中学生に親しみやすいマテマや、中学生キャラクター、これを登場させ、注意を促し、あるいは考え方のヒントを示すなどの工夫があります。このキャラクターは各章の導入にいかされています。

次に、117ページをご覧ください。ここにございます「やってみよう」では、そこで学んだことを用いて問題を解くことで、数学を学ぶ意義や良さが分かるような課題を設定し、数学の有用性を味わわせる工夫がされています。

高木宏幸教育長 ただ今、説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

宇田川久美子委員 草加市の生徒の実態のところ、「数学的な言葉で表現したり説明したりする力」にある「数学的な言葉」というのは具体的にどのようなもので、それぞれ教科書ではどんな形でいかされているのでしょうか。

説明員 例えば根拠や理由をきちんと説明できることがあると思います。こういう理由などで、こうなりますというような。

宇田川久美子委員 「数学的な言葉」というのは「理論的な」ということですか。

説明員 それも含まれています。しかし、それだけではありません。

宇田川久美子委員 他にはどんなことがあるのですか。

説明員 例えば、数学の専門的なことで言うと、帰納とか演繹とか、そういう考え方がございまして、数学的な考え方というふうに一般的には言っております。例えば具体的な幾つかの例から一般的な法則を見つけ出すことは帰納という方法です。それから、ある事柄から別の事柄を類推するとか、幾つかの例からこんなことが言えそうだとか、そういう根拠を示しながら説明するような力と考えています。

宇田川久美子委員 事例に基づいて、根拠を持ってというようなことですね。

説明員 そういうことを含めた説明の仕方を身に付けることが、少し足りていないということとです。

村田悦一教育長職務代理者 今日は特に学び方についていろいろ聞いているのですが、いわゆる学習の進め方、特に算数、数学に限らず、主体的に学習していくことが、やはり「分かる」「できる」ということにつながっていくと思います。そういう意味で、学習の流れが、中学生

になって主体的にどんどんできていくような形になっているのか、学習の流れとしては各発行者同じような形なのか、特にそういう、主体的に学べるような数学的な教科書になっている特徴的なところがあれば教えていただけますか。

説明員 各発行者とも工夫をされていると思います。例えば、ノートの書き方などを具体的な例にして、教科書の巻頭のほうで示している発行者が多くあります。また、巻末のほうで、課題学習であるとか、レポートのまとめ方、発表の仕方などを示している発行者もごさいます。

村田悦一教育長職務代理者 各発行者いろいろな工夫をしていて、特にここが良い、ここがあまりやっていないということではなくて、それを教師がどう使いこなしていくかという意味ではそれぞれの教科書で主体的な学びができるようになってきているという形によろしいですか。

説明員 はい。どの発行者も工夫されているというふうに考えています。

村田悦一教育長職務代理者 それから、草加寺子屋を含めて、算数、数学、特に幼保小中の連携という形の中で、特に小中全体を明らかにして、どこでつまずいたらどこでという、小中のつながりを一番意識している、分かりやすくしている、そういう視点で見たときに、数学の教科書はいかがですか。

説明員 今までの関連性を示したものを一覧にして示している発行者もごさいます。

村田悦一教育長職務代理者 全部ではないのですね。

説明員 全部の発行者にあるということではないです。

村田悦一教育長職務代理者 それはどこがやっているのですか。

説明員 一つの例ということであれば、東京書籍の3年生の巻末のところにごさいます。そこに、それは既習事項との関連が見やすくなっていると思います。

村田悦一教育長職務代理者 小学校との関連までをどこかに分かるようにというのは。

説明員 例えば、先程お話しした既習事項の内容を確認するというところも発行者で工夫されています。

井出健治郎委員 数学を、いわゆる身近に感じるような取組はよく分かったのですが、まず一つ、ここで結論でなくていいのですけれども、これだけの発行者があると、多分、先生方がご覧になると、いわゆる学力レベル的に、この教科書は結構なレベル感を扱っているとか、つまり草加市の子どもにとっては意外と難しいかなとか、これなら易しいかなとかのレベル感は何となく感じていらっしゃるのかどうか。もう一つは、今、村田委員から、あるいは先生からお話がありましたが、子ども教育連携推進室で数学に関しては小学校から系統の冊子を作っていて、そういった小中のつながりを反映している特徴がある発行者もあるという認識でよろし

いですか。

説明員 程度の差はあると思いますが、意識はされていると考えます。練習問題等の分量は、やはり多少の違いはあると思いますので、先程おっしゃったレベルといいますが、力といいますが、それは少し教科書によって差があると思います。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。

それでは、次の教科に入ります。説明員の方、お入りください。

<理科>

説明員 理科の教科書についてご説明を申し上げます。

草加市の生徒の実態でございますが、自然事象への関心、意欲、態度、及び観察実験の技能に課題が見られます。

この草加市の生徒の実態を踏まえての観点についてでございますが、主体的に学習に取り組むことを大切にしながら、実社会、実生活との関連を図る工夫といたしました。

次に、各発行者の特色、特徴等についてご説明申し上げます。理科につきましては、各発行者の第1学年のものを例に取って説明させていただきます。

まず、東京書籍につきましては、初めに76、77ページをご覧ください。76ページのやや上のほうに、クエスチョンマークで学習課題を提示しています。それに対する結論を右の77ページの中ほどにまとめとして明示しています。この構成が本教科書の特徴、特色です。そのまとめの上に、「ここがポイント 密度を求める式」というのがありますが、ご覧ください。このように公式や重要な事項は、「ここがポイント」欄を設け、強調して確実な習得を図っています。さらに、まとめの下に例題、練習がありますが、この「ここがポイント」に対する丁寧な解説場面や演習を設けています。

2ページ、3ページの目次のところですが、3ページ右側のほうに、1学年で学ぶ学習内容が載っておりますが、左側端、2ページのほうに、小学校の学習内容との関連が載せてあり、この関連が一連で示されております。

また、巻末付録になりますが、この付録に特徴があり、ペーパークラフトで立体的に理解できるようなものになっております。以上でございます。

次に、大日本図書につきましては、まず、66ページ、67ページをご覧ください。単元の扉の見開きのページ中央に、これからの学習内容を並べ、その上側に、これまでに学習したことを記し、既習内容を振り返り、そして、下側にこれから学習することを記し、単元の学習を

見通すよう工夫をしています。

次の68ページ、本文の左側のところにも、「思い出そう」の欄が設けてありますが、本文中にも適所にこれを設け、学習の系統性が分かるように工夫されています。

次に、106ページ、107ページをご覧ください。実験具の操作や実験内容で危険防止のための注意については、黄色地に赤字で目立つように工夫され、生徒に徹底して意識させようとする配慮があります。

次に、128ページ、129ページをご覧ください。単元のまとめが記してありますが、非常に見やすく、中央にキーワードを並べて確認できるように工夫されています。

最後に、280ページ、281ページをご覧ください。索引のページではありますが、下の段に、さまざまな科学読み物が本文中にたくさん掲載されておりますが、その掲載ページがこの下側のところに一覧表示をされています。中でも「くらしの中の理科」については生徒が実生活との関連を実感しやすい読み物となっております。以上でございます。

次に、学校図書でございます。初めに5ページをご覧ください。単元の初めに既習事項に対する確認の問題、「これまでに学んできたことをチェックしよう」があります。問題形式で確認しているのはこの教科書だけであり、特徴と言えます。

8ページをご覧ください。この下側にこれまでに学んできたことを、先程の質問の答えがこの各章の初めにその回答が記されております。

34ページをご覧ください。右上に「思い出してみよう」というのがありますが、本文中にも既習内容の振り返り、学習の系統性が分かるように工夫されています。

次に、152ページ、153ページをご覧ください。この教科書は全体的に図や文字が大きく、行間も広く、見やすくなっております。このページのような基本操作などの補助資料のページも同様で、見やすい構成になっております。以上でございます。

次に、教育出版につきましては、初めに2ページをご覧ください。この1年生の教科書の巻頭に、小学校で学習した内容を題材とした理科学習の進め方がこのページから6ページにわたり掲載をされております。探究の過程などを丁寧に説明をしています。

それから、巻末でございますが、各学年の学習内容に関連した付録、これが付いております。1年生では、光の章の凸レンズによる学習に関連した簡単なカメラの作成の付録が付いております。

次に、119ページをご覧ください。章の学習末には、このページの下にありますように、「要点をチェック」というのを載せ、さらに122ページをご覧ください。単元末には基礎・

基本問題、それから1枚めくっていただきまして、次の124ページに活用・応用問題を掲載し、学習した内容を段階的に定着させることができるようになっていきます。

戻りますが、37ページをご覧ください。この教科書の特徴として更に挙げられるのは、右側にあるような生徒キャラクターの話し合いがヒントとなり、思考、探究へと導いています。この生徒キャラクターの話し合いは、40ページや、さらに42、43ページにもございます。このように生徒のキャラクターで思考の深めを図っております。以上でございます。

最後に、新興出版社啓林館につきましては、まず大きな特色として、読んで理解する本冊と、それから、最後に『マイノート』という、書いて理解する別冊により構成されています。この『マイノート』の24ページをご覧ください。大切な用語を、本冊の巻末に青色のシートがついているのですが、この青色のシートで隠して、その問題の回答欄に書けるようになっていきます。本文中にも同様のページがございます。

それでは、本冊の26ページをご覧ください。各章の先頭に「ふり返し」を設けています。次の29ページの右上にも「ふり返し」があります。このように本文中にも適所に設け、学年間の関連や系統性を重視しています。

巻末資料の236ページをご覧ください。「地域・環境資料集 サイエンストラベラー」というもので、自然事象の見られる地域、施設を多数紹介しており、ここでは249ページまでずっと掲載されております。

最後に、256ページをご覧ください。ここでは、理科における話し合いと発表を掲載し、科学的思考力、表現力、発表力を高める工夫がございます。理科については以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今、説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

宇田川久美子委員 地域の資料等は、きっと興味を持ってもらえると思いますが、大日本図書の2年生の50ページの図40で、草加市の銅像を見付けたのですけれど、同じように草加市を扱って資料を提示してくれているところは他にありますか。

説明員 草加市については今おっしゃっていただいたものがあるのですが、他は埼玉県であればある程度お話しすることはできるのですが。

宇田川久美子委員 例えばどんなものがありますか。

説明員 東京書籍につきましては、埼玉県秩父郡のようばけであるとか、秩父郡のカニの化石であるとか、人間市の植物の杉の花粉であるとか、そんなようなものがございます。各発行者、県内のものを載せておるのですが、大日本図書は川口市、鉄の状態の変化で載せてあります。それから、長瀬町の県立自然の博物館も掲載されております。それから、学校図書につき

ましては、春日部市のごみの分別の回収、越谷市の吹奏楽の演奏、さいたま市の雷、深谷市の春のアブラナの写真、熊谷市の緊急地震速報の仕組みなどを載せてございます。教育出版については、2年生の教科書で、所沢市で電気エネルギーを光エネルギーに変換する施設の例が載っております。それから、新興出版社啓林館につきましては、川口市のグリーンセンターが資料として載っております。

宇田川久美子委員 では、草加市というような形で載っているのは、大日本図書の資料のみですか。

説明員 はい。

小澤尚久委員 本市の生徒が観察や実験を進めるに当たって、実態を踏まえた上で、こういう配慮があると特に実験が進めやすいとか気付きやすいとか、そういうところが、先程も何点か挙げてくださったところがあったと思うのですけれども、もう少し詳しくお願いします。

説明員 それでは、同じ実験でお話しさせていただきます。各発行者とも学習課題が提示されて、その課題に沿った実験が示されて、その実験方法、結果の整理、それから考察という流れは共通しています。

まず、東京書籍の93ページをお願いいたします。気体の発生の実験があると思うのですが、まず実験の注意が上のほうにマークで幾つか示されております。その中に、実験のコツというものを鍵マークで示しています。それから、94ページでは「まとめ」、95ページでは「ここがポイント」で、結果や、この実験で行われる基本的な操作が、きちんと明示されているので、学習内容を生徒たちが確認できるというのが特色だと思います。

次に、大日本図書ですが、89ページをお願いします。先程お話しした「実験のコツ」が、実験を進める上で、円滑にできるように示されております。また、実験上の注意が黄色地のところに書いてあり、非常に意識しやすくなっております。それから、次の90ページ上ですが、実験結果の例が示されて、生徒が適切な実験記録ができるように配慮されております。

次に、学校図書でございます。46ページをお願いします。これも目立つように、生徒の注意喚起を促しております。また、実験上のコツについては、ポイントという言葉で示してございます。それから、48ページの上、実験結果の例が、手書き風に記されて、生徒が自分で記録を取るときの参考になると思います。

次に、教育出版です。28ページをお願いします。実験を行う際の実験具であるとか薬品等の準備物が上に非常に見やすく記されて、用意の際にチェックしやすい構成になっています。また、実験上の留意点、赤字で書いてある注意事項が、かなり丁寧に多数記されております。

最後に新興出版社啓林館ですが、139ページをお願いいたします。この教科書では実験上の注意事項が最初にマークで記されております。それから、実験内容に応じて適所にエクスクラメーションマークをつけて実験上の注意が記されております。また、実験上のコツにつきましても、ポイントという言葉で示して、丁寧な解説を加え、実験が円滑に進むように配慮しています。以上、生徒が実験・観察を進めるに当たって各発行者が工夫しているところです。

宇田川久美子委員 根本的なところなのですが、教科書の名称がサイエンス、科学、理科のように表紙が違うのですが、これは何を付けてもよくて、それぞれに特徴的な意図のようなものはあるのでしょうか。

説明員 教科としては理科となりますが、教科書の書名ということで、その教科書で特徴を持たせて記していると思います。

宇田川久美子委員 理科と書かなくても特に問題はないのですか。何か、見ていて、横文字のサイエンスだったり、科学だったり、理科だったり、何か特徴を出したいのかなと思って聞きました。

高木宏幸教育長 今回の件で言えば、「新しい科学」と書いてあっても、字は小さいですが、「中学校理科用」と、「サイエンス」のほうも「中学校理科用」となっていますね。

宇田川久美子委員 私は周期表を見るのが大好きなのですが、周期表を2年生で見たときに、ものすごく特徴が違って、Feとか書いてあるだけのものもあれば、そこにくぎを出しているものもあれば、金属の写真が出してあったりするものもあって、興味の意識が全く違うなと思ったのですけれども、学校では周期表を授業に使ったりするようなことはありますか。

説明員 あります。

宇田川久美子委員 そこには具体的なものが載っていたりすると、子どもたちもより身近に感じてもらえるというようなことはありますか。

説明員 実物のものがあつたりすると、より興味関心がわくと思います。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。

それでは、次の教科に入ります。説明員の方、お入りください。

< 音楽 >

説明員 音楽科の教科書についてご説明申し上げます。

草加市の生徒の実態でございますが、週1時間の授業ではありますが、音楽科の学習に積極的に取り組む生徒が多く見られます。日々の授業や、全ての中学校で実施されている合唱コン

クールなどで着実に表現力、特に歌唱力が向上しております。また、埼玉県小中学校音楽会において地区代表に選出される機会が多くあり、歌唱のみならず器楽活動も優れていると考えております。しかし、生徒一人ひとりのこれまでの音楽体験の有無により、技能に個人差があります。技能を伴う教科であることから、個人差に関わらず、生徒の興味・関心を高め、基礎的な能力を伸ばすことが求められております。

草加市の生徒の実態を踏まえての観点についてでございますが、音楽科一般については、一つ目に教材選択についての工夫、二つ目に鑑賞の活動において言語活動の充実を図るための工夫、音楽科器楽については、音楽科一般と同様に教材選択についての工夫といたしました。

次に、各発行者の特色、特徴等についてご説明申し上げます。まず、音楽科一般につきましては、各発行者の第1学年のものを例に取って説明させていただきます。

教育出版でございますが、『中学音楽1』の22ページをご覧ください。22ページから23ページにかけて、指揮の活動が掲載されています。最初のページで指揮の基本的な事項を説明し、次のページで曲を歌いながら指揮をして、強弱などの表現を工夫するように掲載されております。

また、32ページをご覧ください。32ページから35ページにかけて、鑑賞教材のヴィヴァルディ作曲の「春」が掲載されております。最初の2ページで楽曲や作曲者について説明し、次の2ページで「春」全体の主旋律の楽譜が掲載されております。このように音楽活動が主体的に行えるよう、写真が豊富に準備され、曲全体の楽譜が掲載されるなど、楽譜からの情報も得ることができます。このことから、言語活動の充実が図られ、発展的な学習にも対応し、幅広い音楽的知識が身に付けられるよう配慮されております。

次に、教育芸術社でございますが、『中学生音楽1』の52ページをご覧ください。52ページから53ページにかけて、指揮の活動が掲載されております。最初のページで指揮の基本的な事項を説明し、次のページで指揮で音楽を豊かに表現するために必要な強弱の振り方など、基本的な活動が掲載されております。

次に、32ページをご覧ください。32ページから35ページにかけて、同じ鑑賞教材のヴィヴァルディ作曲の「春」が掲載されております。最初の2ページで楽曲や作曲者について説明し、次の2ページで大きな演奏写真とイタリアの気候と曲目との関係やチェンバロについて掲載されております。このように写真が豊富に準備され、音楽学習で身に付けるべき基礎的・基本的な内容が分かりやすく示されており、言語活動が充実し、発展的な内容も無理なく取り組めるよう配慮されております。

次に、器楽について説明させていただきます。

教育出版でございますが、『中学器楽』の9ページをご覧ください。アルトリコーダーで「オーラリー」という曲を「全体の響きを感じ取って合わせて演奏しよう」となっております。ヘ長調で書かれております。8小節のきれいな合奏ができるようになっております。

次に、78ページをご覧ください。先程説明したヴィヴァルディ作曲の「春」の合奏の楽譜が掲載されております。ソプラノリコーダーと低音楽器、またはソプラノリコーダーとアルトリコーダーと低音楽器で演奏するよう掲載されております。ト長調で書かれております。「全体の響きを感じ取って合わせて演奏しよう」となっております。このように、豊富な資料や教材が掲載され、楽曲が持っている美しさ、良さがいかされた調号で表記された曲が多く、より高度な演奏ができる曲が多いと考えます。また、合奏曲も幅広い時代の魅力的な曲が多く、音楽性をより伸ばすことができるという特徴があります。

次に、教育芸術社でございますが、『中学生器楽』の11ページをご覧ください。同じ「オーラリー」という曲が全曲掲載されております。低音と左手の練習であり、1人で吹くようになっております。ハ長調で書かれております。

次に、57ページをご覧ください。ヴィヴァルディ作曲の「春」の合奏の楽譜が掲載されております。ハ長調で書かれております。「原曲のイメージを大切にしながらフレーズ感を生かしながら、アーティキュレーションを工夫して演奏しよう」となっております。このように豊富な資料、教材が掲載されております。取り組みやすい調号で表記された曲が多く、生徒は取り組みやすく、段階的に技能を高めやすくなっております。合奏も、世界の音楽などを含め、様々なジャンルから選択できる曲が多く、生徒の興味・関心を高め、基礎的な奏法を身に付けやすい特徴があります。音楽については以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今、説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

加藤由美委員 実際、授業の中でリコーダーの他にどんな楽器を使われるのでしょうか。

説明員 中学校においては、小学校は大体ソプラノリコーダーだったのですが、中学校では主に、アルトリコーダーをやっております。個人的にリコーダーを購入する学校が多いのですが、あとは打楽器を、個人的に買うのではなくて学校で準備をして、パーカッションの小さいものを使ったり、また、和楽器も、3年間で1種類やらなければいけないということになっておりますので、琴とか和太鼓、小さい締太鼓を使うことがございます。

宇田川久美子委員 教科書のボリューム的なことで、どちらもですが、特に合奏用は10ページ近くページ数が違うように思うのですが、その辺の何か特徴というのはありますか。

説明員 内容的にはどちらも豊富なものが準備されていると思いますが、楽譜を全部、掲載するかどうかによって、多少の目的によって違いが出てきますが、内容的にはどれも同じだと考えています。

宇田川久美子委員 それに伴って、例えば教育芸術社は八長調であるものが多く、取り組みやすいと思うのですが、難易度的にはどうでしょうか。

説明員 小学校の段階で、本来であれば調号というのを教えるべきものなのですが、なかなか全員が習得できていません。先程実態でも申し上げたのですが、音楽というのは日々の学習というか、耳から入ってくるものもありますし、目から楽譜上とらえるものもあるので、個人差が非常にある教科です。中学校に入った段階で、ピアノを習っている子とか、音楽経験が豊かな子に関してはもちろん楽譜も読めますし、そういう面で一概にどっちがとは言えませんが、それぞれ特徴があって、取り組みやすいと考えております。

小澤尚久委員 今、個人差とおっしゃいましたけれども、そういう個人差がある教科として、個人差によっても興味関心を高める工夫、それぞれ生徒がこんなところに興味・関心を持って取り組めるのではないかとというようなところがありましたら幾つか教えていただけますか。

説明員 音楽というのは、やはり個人的なものでやる部分と、全体で、合唱や器楽を含めて、みんなでやることによってお互いに関わり合ったり、良さを共有したりすることができる教科でありますので、そういう意味から、お互いに関わりの中で音楽を高めることができ、より基礎的な能力も向上することができるのではないかと考えております。

小澤尚久委員 それぞれの教科書で。

説明員 どちらの教科書も、一人もしくは全体で合わせてということが明記されておりますので、お互いの関わりから音楽性を伸ばせると考えております。

村田悦一教育長職務代理者 草加市の生徒の実態を踏まえた観点での教材選択についての工夫というお話で、個人差を踏まえてということなのですが、例えば目次に教材、題材が出ていますが、どちらがより良いのか、そういった工夫というのはありますか。

説明員 音楽は学習指導要領におきまして、何年生でこれをやりなさいという指定はありません。目標があって、目標と実態に応じた選定をしていくということになっておりますので、発行者が目標を踏まえて教材準備をしていると考えております。鑑賞教材も、これを取り入れるという指定が今の学習指導要領ではないので、目標に応じて曲を選択します。

村田悦一教育長職務代理者 そうすると、ここでは同じもので、これは草加市の実態に合っているとか、合っていないとか、あるいは先程の八長調かどうかとか、同じ曲でも難易度とか、

教材選択について工夫されているかどうかという理解でよろしいですか。

説明員 教材選択に関しては、3学年で1時間なので、それを踏まえて、1年生でやるべきなのか、3年生でやるべきなのか、目標に応じて選ばれてくると考えております。草加市の実態や、個人差があることも、考えないといけないと感じております。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。

なければ、ここで休憩を取りたいと思います。昼食も挟みますので、午後のスタート時間は午後1時10分としたいと思います。よろしく願いいたします。

(休 憩)

高木宏幸教育長 それでは、再開させていただきます。次の教科書の説明をお願いいたします。

< 保健体育 >

説明員 保健体育科の教科書についてご説明申し上げます。

まず、草加市の生徒の実態でございますが、全国及び県の学力・学習状況調査の質問紙調査や、草加市体力向上推進委員会での調査において、朝食を食べない生徒が見られることが分かっております。その要因として、就寝時刻の遅さ、並びに起床時間の遅さが影響していると考えられます。さらに、体育以外で運動する生徒と、ほとんど運動しない生徒の二極化が見られます。これは、生活習慣や運動習慣の個人差によるところが大きいと考えられます。以上の実態を考え、日常生活において健康な生活を営む資質や基礎を培うことが草加市で生活する生徒の課題であると考えます。

草加市の生徒の実態を踏まえての観点についてでございますが、健康な生活を営む資質や、能力の基礎を培うことを課題としたことから、健康の保持、増進のための実践力の育成といたしました。

次に、各発行者の特色、特徴についてご説明申し上げます。各発行者の教科書の構成及び自然災害から応急処置を例に取って説明させていただきます。

東京書籍『新編 新しい保健体育』につきましては、章の扉に小中高で学習する内容が示され、小中連携の見通しが持てます。また、学年別に保健編、体育編とまとめてあり、その学年で学習すべき内容が把握できるよう、工夫された構成になっています。

教科書の74ページをご覧ください。項目の先頭に、生徒が主体的に学習できるよう「今日

の学習」「やってみよう」「考えてみよう」といった構成になっており、学習の流れがはっきりと示され、生徒にとって取り組みやすいよう工夫されています。「考えてみよう」では、自分の意見をまとめて発表し、グループで話し合ったことを実践にいかすためのディスカッションやブレインストーミング、ロールプレイングを意図的に設定することができ、思考力、判断力、表現力の育成が図れるようになっています。1 単位時間の最後に「生かそう」が設けられており、学習したことを日常生活にいかせる構成になっています。また、登場するキャラクターが注釈の役目を果たしており、学習を支援するポイントを示すことで更に理解が深まるよう工夫されています。

80 ページをご覧ください。心肺蘇生と応急手当の実習がイラストや写真を豊富に配置して、分かりやすく手順を学習できるよう工夫されております。この実習を通して、日常生活にいかせる実践力を高められるようになっています。章末の資料は、災害の危険性を更に深め、危険を予防できる力を養う構成になっています。

90、91 ページをご覧ください。各章末に学習内容を理解できたか確認できる「確認の問題」「活用の問題」があり、基礎的・基本的な知識が確実に習得できるような構成となっております。

次に、大日本図書『新版 中学校保健体育』につきましては、教科書 85 ページをご覧ください。章の扉には、この章で学習する内容が明示され、生徒が興味関心を持って学習できるようになっております。問題提起から、この章で目指す生徒像が示されており、見通しを持って学習することができます。

教科書 94 ページをご覧ください。学習の流れとして、今日の学習課題を示し、「考えよう」で身の回りの生活に関わる疑問から学習が進められ、生徒が見通しを持って学習に取り組めるよう構成されております。「学習を活かして」では、学習した内容から更に考えを深められる構成になっています。学習を進める上で必要な資料が豊富にあります。写真、イラスト等、生徒が分かりやすく理解できるよう配慮されております。また、重要語句を太く強調しており、次のページの写真による資料は、ページを多く使い、自然災害の恐怖と対策を学習するのに効果的に使用しており、日常生活の中でも災害に対して意識を高めていくことができるよう工夫されております。学習内容が 2 ページ見開きでまとめてあり、終わりには、キーワードとして学習した重要語句を再確認できるよう構成されており、学習に必要な思考力、判断力、表現力の育成を図っております。

100 ページをご覧ください。心肺蘇生から応急処置に至るまで、写真とイラストを活用し、

手順を確認しながら実習ができるよう工夫されております。章の最後には学習のまとめがあり、重要な語句や要点を振り返りながら学習内容の理解が図れるよう構成されています。太文字で表記し、関連ページを示すことで学習を振り返り、自主的学習ができる構成になっています。

次に、大修館書店『保健体育』につきましては、教科書94ページをご覧ください。項目名の下に「クエスチョン」の導入発問があり、学習する内容をつかむことができるようになっています。学習を進めるに当たって、重要語句を太字にし、学習内容を理解するために写真や図を豊富に明示しています。また、資料から読み取ってほしい重要ポイントを黄色の吹き出しにし、基礎的・基本的な知識を習得できるよう工夫されております。「チャレンジ」では、学習内容をもとに、自分の考えやディスカッション、ブレインストーミングの記入欄があり、思考力、判断力、表現力の育成を図れるようになっています。本文全体に薄黄色で区別することによって、見やすく、めりはりのある教科書となっています。また、教科書の章ごとに検索しやすいように色別に工夫しています。学習する中で、パソコンで詳しい説明や参考となるサイトにつながるよう、インターネットのアドレスが紹介されており、自発的に学習を深められるように工夫されています。

98ページをご覧ください。応急処置から心肺蘇生の実習を分かりやすく支援するため、イラストと吹き出しによるポイントを豊富に活用するとともに、心肺蘇生法ではフローチャートを示し、傷病者の状況に応じて手順よく実習ができるような構成になっており、即実践に移せるようになっています。

教科書108ページをご覧ください。各章の最後に学習のまとめのページを設け、「学んだことを振り返ってみよう」「学びをいかそう」「学びを広げよう」とすることで、復習、生活への応用・学習の発展として、自主的・自発的な学習として活用できるようになっています。

次に、学研教育みらい『新中学保健体育』につきましては、章の扉に小学校で学習したこと、中学校で学習すること、さらに高校で学習することが明示され、小中連携として学習の見通しが持てるようになっております。

教科書66ページをご覧ください。各項目の冒頭に、「学習の目標」で学習内容を明確にし、自分の生活体験を基盤とし、本文と資料で基礎・基本的な内容を分かりやすく理解できるよう、キーワードを設けたり、重要な語句は太字にしたりするなど工夫されております。また、「エクササイズ」で自分の考えをまとめたり、話し合ったりする学習場面も持て、思考力、判断力、表現力の育成を図っております。

教科書68ページをご覧ください。この章の「もっと広げる、深める」では、生徒の興味関

心に応じて学習が深められるよう、写真や工夫された図など、豊富に掲載し、視覚的にとらえられるよう工夫しています。今日的課題の災害について分かりやすく掲載しています。また、災害から身を守るヒントを考え、実践にいかすことができるように配慮されています。

教科書74ページからをご覧ください。心肺蘇生から応急処置の学習した内容が実習できるよう、分かりやすいチャート図を示し、また、写真やイラストを豊富に使い、基礎的・基本的な知識を活用することができるよう構成されています。生徒が自主的に学習できるよう、ポイントを押さえてあり、いつでも復習や定着を図れるような構成となっております。

80ページの「探求しよう」では、事故防止、被害防止の現代的な課題や生徒の興味関心に応じて学習ができるようになっています。

次のページには、「章のまとめ」があり、学習した知識を確認し、日常生活にいかせる記述式の問題を設ける等、基礎・基本の定着と実践力の育成を図れるよう配慮されています。以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今、説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

加藤由美委員 大修館書店の「体のつくりと働き」のところで、筋肉の場所に説明書きがあったり、何のためにこの筋肉があるのかとかいう説明が少し入っていて、ちょっと面白いと感じました。他の発行者にはその説明がないところが特徴だと思うのですが、草加市の課題として体力向上ということを大きく挙げていますが、体力向上をどのように子どもたちに教科書を通して伝えていくのかというところを、ちょっと難しいと思うのですが、いかがでしょうか。

説明員 特に教科書では「心身の発達」というところがございまして、それに関連付けて扱っているところです。子どもたちはトレーニング、または身体の健康を考えていく上で、どの筋肉を使ったらいいのか、またはどういうトレーニング方法が体にとって良いのかというのを体育編、また保健編で活用して学習しております。

宇田川久美子委員 薬物やドラッグなどの取り扱いについて、何か特徴的なところがあったら教えていただけますか。

説明員 薬物、危険ドラッグにつきましては、これも保健領域で扱う内容なのですが、各発行者とも薬物乱用という指導の範囲の中で、個別に注射や、トピックス等で生徒に分かりやすく説明をしています。実際にどういう場面で危険なのか、どういう作用なのかも自分たちで考えながら、危険防止のための対策等を考えられるような場面設定もしております。

小澤尚久委員 心の問題について何か各発行者で特徴的なことですか、より草加市の生徒に合ったような記述、資料等があったら教えてください。

説明員 特に心の問題につきましては保健領域の中で、ストレスの回避方法や欲求の対応等で扱っています。その中でコミュニケーション能力や自立心の育成ということがどうしても避けられないので、有効な人間関係、または自分の心の開放の仕方についても保健領域等で項目があり、指導しているということでございます。

小澤尚久委員 各発行者とも充実した内容で取り扱っていただいているということでしょうか。

説明員 はい。

村田悦一教育長職務代理者 保健体育ということで、体育編と保健編に分かれており、保健編は保健として教室で最初から行うことを想定していますが、体育編の場合には実技という形で、実際には外での体育での活動との関連をどうやっていくのか。使いやすさや使いづらさ、具体的に体育編が実際の実技にどう結びついていかされているのか、特徴的なものや工夫されているものはありますか。

説明員 体育編につきましては、主に体のことは2年生で扱いますが、スポーツが身体の発達に与える効果的な影響と安全で扱っております。特に、体操領域では、筋肉の発達、心肺の発達等を絡めながら、スポーツが体にどういう影響を与えるのか、その体験をもとに授業の中で扱っていくということになっています。

村田悦一教育長職務代理者 それは各発行者ともやっているのですか。それとも、特にやっている発行者があるとか、そういう特徴はありますか。

説明員 どの発行者でもそれについては扱っています。

村田悦一教育長職務代理者 健康の保持・増進のための実践力が、草加の観点となっていまいますが、何を実践力とするか、その辺がなかなか難しいのですが、一つは健康、健全と障がいがあります。障がいのあるなしに関わらず、誰でもが体を動かせるとか、そういう視点で書かれている教科書はありますか。

説明員 日常生活の中で心身ともに健康に過ごすというのが大きな目標でございますので、その中に当然、どういった障がいがあるのか、障がいを持たれている方への対応等は、どの教科書でも扱っています。

高木宏幸教育長 先程、草加市の生徒の実態のところ、朝食の欠食率とか就寝・起床時刻の問題とか、大きく健康に関わる場所ですけれども、どの教科書でもそういったことについて取り扱いはしていると思いますが、何か特徴的なつくりというのですか、草加の子どもたちの実態に合うような試みというのがどこかの教科書ではされているのでしょうか。

説明員 健康な生活を営むというところで、自分の日常生活、基礎的なところを見直しながら、更に向上させていくというところに入っていると思います。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。

それでは、次の教科に入ります。説明員の方、お入りください。

<技術・家庭>

説明員 技術・家庭科の教科書についてご説明申し上げます。

草加市の生徒の実態でございますが、実践的・体験的な活動を通し、その中から知識、技術を学ぶことが大変好きであります。しかし、基礎的・基本的な知識、技術において生活経験不足から実習や製作活動における個人差が出てくるのが課題となっております。

草加市の生徒の実態を踏まえまして、観点についてでございますが、技術分野では、1点目として、実践的・体験的な学習活動を行う工夫。2点目は、安全や衛生、技術に関わる倫理観への配慮についての工夫。家庭分野では、1点目は、小学校家庭科の学習内容との関連についての工夫。2点目は、安全や衛生への配慮についての工夫といたしました。

次に、各発行者の特色、特徴等についてご説明申し上げます。

初めに、技術分野からご説明申し上げます。各発行者とも技術と加工に関する技術の内容についてご説明いたします。

東京書籍につきましては、全体的にサイズがA B判で見やすくできております。また、写真等、最新のものが使われてもおります。実践的・体験的な学習活動を行う工夫としまして、32ページから33ページをご覧ください。けがきや切断、削り、折り曲げ、穴あけ、ねじ切りなどの方法をイラストやピンポイント写真により示しています。これらの方法を54ページから65ページのように、基礎的技能として紹介しております。

さらに、74ページから81ページには、実習例のページを設け、実践的・体験的な学習活動ができるような工夫が見られます。

安全指導では、34ページ、左下の安全・衛生マークをご覧ください。各内容で、このマークで作業時の安全の意識付けを図るほか、巻頭2ページから5ページまで、見開きで安全についてのページを設定し、安全について意識付けを図る工夫が見られております。

次に、教育図書につきましては、写真資料や図が多く取り入れられ、資料を見ることで学習が進められるようになっております。

実践的・体験的な学習活動を行う工夫としまして、32、33ページをご覧ください。32

ページ、図1、2、3と、具体物を示しております。加工について意識付けを図るため、分かりやすい写真を使って、墨付け、のこぎり引き、穴あけ、やすりがけなどの方法を掲載しております。

33ページの写真の矢印のページに従って、36、37ページを開けていただくと、墨付けについて更に分かりやすく加工の方法を大きな写真で示し、実践的・体験的な学習ができるような工夫が見られております。

安全指導では、43ページ左下にある注意マークを付け、安全に関わるそれぞれのページで注意を喚起するよう工夫が見られております。

最後に、開隆堂出版につきましては、写真、イラストが多く、問題解決的な学習が展開でき、系統的な学習が進められるように工夫されております。

実践的・体験的な学習を行う工夫としまして、38ページ、39ページをご覧ください。けがき、切断、切削、穴あけ等の加工の方法を全て写真で示してあります。

さらに、54ページでは、けがきについて、56ページでは切断について、1時間の授業の中で目的意識を持って学べるように写真やイラストで示し、実践的・体験的な学習が容易にできるような工夫が見られ、基礎的・基本的な技術が確実に定着できるようになっております。

安全指導では、61ページ、右上にあります安全マークを使い、安全に関わるそれぞれのページで、生徒の実習や作業時の安全を意識させる工夫を図っております。

また、戻りまして16、17ページには、2ページにわたり、作業の安全について特設ページを設定し、安全指導の徹底が図れるような工夫が見られています。

続きまして、家庭科分野をご説明申し上げます。

初めに、東京書籍につきましては、技術分野と同じようにサイズがA B判で、写真や資料が多く掲載されており、興味関心を高めることができるようになっております。

小学校家庭科の学習内容との関連についての工夫では、6つの基礎食品群について、33、34ページの見開き2ページをご覧ください。小学校のように色分けして示しております。さらに、1日分の摂取量の目安を示し、何をどのくらい食べるかという中学校での学習内容に加え、小中学校の系統性を図っております。

また、38ページ、左上の小学校マークを示したり、実習や製作活動では小学校の学習内容を振り返られる資料を提示したりしております。

52ページから53、54、55ページのように、野菜の洗い方や切り方、包丁やガスの安全な使い方について、小学校の学習内容が振り返られる資料を提示しております。

安全指導では、安全マークで意識付けるほか、6、7ページのように、見開き資料で安全指導が確認できるよう、特設ページを設けている工夫がされております。

次に、教育図書につきましては、上段に資料、下段に文章表記となり、簡潔にまとめられております。

小学校家庭科の学習内容との関連についての工夫では、6つの基礎食品群について、80、81、82ページの3ページをご覧ください。小学校のように色分けし、示してあります。さらに、この表に1回に食べやすい量、調理しやすい量の概量を付け加え、1日に必要な摂取量を理解する中学校の学習内容の小学校との関連を図っています。

また、調理や製作活動では、108ページでガスの火かげん、194ページ、195ページでいろいろな縫い方を示し、小学校での内容を振り返らせ、中学校での学習と関連付けるようにしております。

安全指導では、108ページをご覧ください。左下にあるハートの安全マークでは吹き出しを使って呼び掛けています。

また、戻りまして103ページでございます。特設ページで更に詳しく安全についての理解ができるように工夫がなされております。

最後に開隆堂出版につきましては、文章だけでは理解しがたい内容も、写真、イラストを多く掲載し、基礎的・基本的な知識、技術の理解を図る工夫がなされています。

小学校技術・家庭科の学習内容との関連についての工夫では、72、73、74ページをご覧ください。6つの食品群について小学校で学んだ五大栄養素と6つの基礎食品群が線で連動して分かるような資料を示し、小中学校の系統が明確になる工夫が見られます。

14ページ、飛びまして190ページのように、「小学校のふり返し」と小学校の学習を想起させた課題を投げかけ、中学校での学習への関心、意欲を高めるようにしております。

また、包丁やガスの安全な取り扱いでは、小学校と同様に提示し、再確認する工夫が見られます。

また、186、187、188、189ページにおいて、小学校で学習した並み縫い、返し縫い、かがり縫いを再度提示した上で、中学校で学習するまつり縫いを提示し、小中の関連を一層充実する工夫が見られます。

安全指導では、101ページにあるように、特設ページで安全マークで詳しく説明するほか、各ページでも示してございます。

また、巻末の270ページにも、安全の資料が掲載され、安全指導の定着の徹底を図る工夫

がなされております。技術・家庭科につきましては、以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今、説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

宇田川久美子委員 技術と家庭科は、その両方での連動はありますか。

説明員 連動というのは特に、深い関わりはないと思いますが、ものを作るとか、家庭生活を通しての男女仲であるとか、そういう部分でのつながりは教科の中であると思います。

宇田川久美子委員 どこの地区でも技術と家庭、同じものを使っているようですが、特に同じものが使いやすいということはないですか。

説明員 先程言われた連動を考えると、同じ発行者の方が学習しやすいと思われま。

村田悦一教育長職務代理者 実態の中で個人差が課題になっているということですが、これは男女差というものはないのですか。今はもう技術と家庭科は共修ですから、男女差、特に家庭科を男子が学ぶ、技術を女子が学ぶ難しさや、配慮等、実際の指導の中で男女差の実態はどうですか。

説明員 授業を受け持つ中では特にございません。男子が家庭科が得意であったり、例えば料理や裁縫が得意であったりとか、それから女子についても木材を使ったものづくりや、パソコンに長けているとか、そういうのはありますので、特にそのところで心配はありません。

村田悦一教育長職務代理者 最後に説明があった、ほころび直しとかまつり縫い、例えば、高校1年生の男子が自分でほころび直しをできる、ボタンが取れたら自分でやる、といったような実践力はありますか。

説明員 ボタンの付け替えはできると思います。やっておりますので。

村田悦一教育長職務代理者 私はほころび直しとかまつり縫いとかができないので、中学校3年生で実際どこまでのものなのか。あとは、プリント整理箱、CDラックディスプレイ等のいろいろなものを製作することについて、ここに示されたものは3年間で全部作る教材例なのか。技術だけではなくて家庭科も含めて、教育課程、年間指導計画の中で、実態はどうなっているのですか。

説明員 学校によってだと思います。指導者によって変わってくると思うのですが、同じものを作らせる指導者もいれば、生徒個々に応じて作らせるという形を取っている学校もあると思います。私の経験では、個々に子どもたちの実態に合わせて選ばせてやらせたということがあります。

村田悦一教育長職務代理者 ここは、あくまでも例ということで、ここに出ているもの全部を生徒が3年間で学ぶということではないのですか。

説明員 3年間で全て製作するというものではありません。

小澤尚久委員 家庭科で、家庭や家族、それから男女の協力など、少子化等にも関わりの深い部分について、何か各発行者で丁寧な取り上げ方や、資料の効果的な使い方、そういったところはございますか。

説明員 各発行者でやはり男女参画社会であるとか、いろいろな部分で男女の共同という部分を取り上げられていて、各発行者ともそれが使われているということを強く感じております。

小澤尚久委員 差がなく、どこも効果的に。

説明員 はい。

高木宏幸教育長 質問を変えますけれども、情報モラルについては、非常に大事な部分であると思うのですが、これに関連して各発行者の違いがあるのか、あるいは特徴的な情報モラル教育の例はどのような形になっているのか教えてもらえればと思います。

説明員 各発行者とも情報モラルについては、やはり力を入れてやっているということを痛感しております。ページ数の違いはあるのですが、各発行者とも取り上げて重きを置いていると考えております。

宇田川久美子委員 草加市の生徒の実態なのですけれども、生活経験不足ということなのですが、具体的にはどんなことが見受けられますか。

説明員 草加市だけではないと思うのですが、ものを作ったりであるとか、調理をしたりであるとか、家庭あるいは社会での生活体験というのが不足しているというのが今の子どもたちは多いと思っております。

宇田川久美子委員 学校で実際に感じる部分はありますか。

説明員 ものづくりだと、工具を使ったことがないことがあります。

宇田川久美子委員 小学校を経てきて。

説明員 中学校から特別に使う工具であるとか機械が出てきますので。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。

それでは、次の教科に入ります。説明員の方、お入りください。

< 英語 >

説明員 外国語科の教科書についてご説明申し上げます。

初めに、草加市の生徒の実態について申し上げます。小学校外国語活動では、文部科学省作成の『Hi, friends!』を使用して授業が行われており、子どもたちは英語に慣れ親

しみながら、コミュニケーションを図る楽しさを体験的に学んでおります。小学校卒業の段階で子どもたちが英語を聞いたり話したりする楽しさを知っており、中学校での英語学習に意欲的に取り組もうという姿勢も見られます。中学校では、小学校外国語活動で体験した素地の上に、語句や表現、文法事項などの知識を活用し、表現したり、理解させたりする力を育成しております。

聞く・話すを中心の小学校外国語活動から、中学校に入学した段階で聞く・話す・読む・書くといった4技能を一度に取り扱う中学校英語への効果的な接続を意識して、基本的な単語や文章を読んだり書いたりするなどの基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせることが求められます。

草加市の生徒の実態を踏まえての観点でございますが、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫の観点に加え、小学校外国語活動との関わりについての工夫といたしました。

次に、各発行者の特色、特徴等についてご説明申し上げます。外国語科につきましては、各発行者の第1学年のものを例に取って説明させていただきます。

初めに、東京書籍でございます。基本的な英語を学ぶユニット、コミュニケーションの仕方を学習するデイリーシーン、自己表現活動を行うプレゼンテーションの3部で構成されています。

38ページをご覧ください。ユニット3です。ユニットの初めに目標が明記され、これからどんな活動を行うかが分かりやすく示されています。左ページに語句と本文、右ページに基本文、基本練習が掲載され、見開きで聞く・話す・読む・書くの4技能が学習できるよう工夫されています。

54ページをご覧ください。このプレゼンテーション1では、ユニット4までに学習してきたことを用いて自己紹介をします。小学校外国語活動で体験してきた簡単な自己紹介の素地をいかし、原稿を書いたり、質問し合ったりするなど、総合的に学べるような工夫がされています。

次に、開隆堂出版でございます。基礎を学ぶプログラム、4技能のコミュニケーション活動を中心としたパワーアップ、それらを総合的・発展的に学習し、自己表現するマイプロジェクトから成り立っています。

30ページをご覧ください。プログラム3です。左ページのベーシックダイアログでは基本文が対話形式で示され、基礎的・基本的な事項についての使用場面を意識して学習ができるよう工夫されています。同じ枠の中には簡単な説明が付いており、新しくどんなことを学ぶのか

分かりやすく示されています。左ページには聞く・話すなどの基本練習があり、右ページでは本文、書く活動が配置され、見開きで基礎的・基本的内容をバランスよく学習できるよう工夫されています。右下の書く活動のところには、マイプロジェクトとの関連が明記されています。緑色で示されていますマイプロジェクト1は、44ページからになります。

44ページをご覧ください。マイプロジェクト1では、プログラム4までに学習したことを用いて自己紹介をします。小学校外国語活動で体験してきた簡単な自己紹介よりも、表現力を高めた発表が誰にでもできるよう、段階的な取組が丁寧に記載されており、小学校との円滑な接続に配慮されています。

次に、学校図書でございます。プレレッスンと4つのチャプターで構成されています。各チャプターは複数のレッスンから成っており、チャプターの終わりのチャプタープロジェクトで思考力を高めさせ、発展的な表現力を伸ばす構成になっています。

20ページをご覧ください。レッスン3です。左ページには本文と単語が掲載され、右ページに基本文、聞く・話す・書くなどの基本練習があり、見開きで4技能がバランスよく学習できるよう工夫されています。入門期に一般動詞から導入し、その後にbe動詞を学習する配列に特徴があり、小学校外国語活動との接続に工夫が見られます。

46ページをご覧ください。チャプター1プロジェクトでは、レッスン3までに学習したことを用いて、自分のことを伝えます。ステップ1、ステップ2と段階的に文に膨らみを持たせ、ファイナルステップで目標の活動ができるようになる構成となっています。ファイナルステップの次のプラスでは、発展的な活動を取り扱っており、言語活動に広がりを持たせる工夫が見られます。

次に、三省堂でございます。レッスンで学習したことをいかしてプロジェクトで統合的に活動する構成となっています。レッスンは習得するゲットと、活用するユーズとに分かれています。

36ページをご覧ください。レッスン3です。右ページ上にあるように、各レッスンの初めには、この科で学ぶことが明確に示されており、ここでは、左ページには聞く活動と基本文が、右ページには本文と話す活動と書く活動があり、見開きで4技能がバランスよく学習できるように工夫されています。基本文の欄では、基本文の上に関連する既習の基本文を掲載し、違いに着目しながら学習できる工夫が見られます。ゲットのページで習得させたものをユーズのページで活用し、基礎的な表現力を身に付けさせる構成になっています。

46ページをご覧ください。プロジェクト1では、レッスン3までに学習したことを用いて

自己紹介をする活動です。自己紹介の英文を読むことから入り、自己紹介を聞き、そして原稿を書き、最後は話す活動としての自己紹介につなげるなど、4技能を統合的に学ばせる工夫が見られます。

次に、教育出版でございます。ホップ、ステップ、ジャンプの3段階のパートから成るレッスンで構成されています。

36ページをご覧ください。レッスン3です。各パートの初めには、「何々ができる」という活動目標が明記されており、生徒に見通しを持たせたり、振り返らせたりする指導がしやすくなっております。単語、本文、基本文、聞く活動、話す活動、書く活動と、見開きで4技能がバランスよく学習できるよう工夫されています。ツールキットの欄には、このページの活動で使うことができる表現をイラスト入りで示しています。

48ページをご覧ください。ホップ、ステップ、ジャンプの3段階で積み上げてきたレッスンを3つ学習した後、統合的・発展的な言語活動に取り組みさせるジャンププロジェクトで思考力、表現力を伸ばす工夫がなされています。このプロジェクト1では、自己紹介の中で写真や実物を見せながら話をするスピーチの活動が取り上げられており、より実践的な自己紹介の活動を目指しています。

最後に光村図書出版でございます。各ユニットが単語と本文、基本文を習得するためのトライイット、習得したものを活用するユーキャンドゥーイットから構成されています。

36ページをご覧ください。ユニット3です。左ページに単語と本文、右ページに基本文と聞くこと・話すこと・書くことの基本練習で構成されており、見開きで4技能がバランスよく学習できるよう工夫されています。ここで基本を習得し、ユーキャンドゥーイットで活用させることで、繰り返し学習できるよう工夫されています。

54ページをご覧ください。ゴーフォーイットでは、各ユニットで積み上げてきた言語材料を統合的に活用しながら自己表現させるようになっていきます。このゴーフォーイット1では、段階的なステップで学習させながら、自己紹介の発表ができるよう構成されています。右上にあるようなマッピングの手法を取り入れて、思考力、表現力を高める工夫をしています。また、右上の活動目標とともに、A、B、C、Dの自己評価欄を設けることで、主体的な学習を促す工夫も見られます。以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今、説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

加藤由美委員 英語は教科書に書き込む欄がかなりあるのですが、授業では、こういう教科書の場合、書き込むことが多いのでしょうか。それとも、ノートに書き写すことが多いのでし

ようか。

説明員 そのまま書き込んで使えるような部分については、授業の中で書き込むことをしている先生が多いと思います。ただ、ノートにまとめさせ、後で振り返りができるように、ノートのまとめ方を工夫するということが日常的に行っていることだと思うので、使いやすいように教科書に書き込ませたりすることはあると思います。

宇田川久美子委員 今のことも関連しているのかもしれませんが、教科書にはワイド版とそうではないのがあると思いますが、他の教科でも聞いたのですが、ワイド版の良いところや、良くないところはありますか。

説明員 ワイド版になった分だけ紙面が大きく見え、見開きで図などを入れたものを使いながら、たくさんの活動が見開きの中に入れられるという利点があるかと思います。

村田悦一教育長職務代理者 中学校では聞く・話す・読む・書くという4技能の中で、草加でもALTがいて、生の英語を聞いていると思うのですか、テープとか、ビデオとかも授業で活用されていると思うのですけれども、教科書に付属するものは各発行者共通なのか、発行者によって工夫されているなど、そのような違いは何かありますか。

説明員 どの教科書についても、音声の教材や映像または絵の教材などは、別の形で出版されておりますので、購入して授業では使います。どの教科書についても、工夫された教材が用意されています。

村田悦一教育長職務代理者 草加の実態としては、ALTはいるのですけれども、そういうものも授業に取り入れて、聞きながら、繰り返しやっているという実態がありますか。

説明員 実態としては、まず、間違いなく音声教材は使っておりますし、また、映像等も、いわゆるデジタル教科書を一斉に見せながら使うような工夫はされております。そうした活動の成果として、一つには、スピーチコンテストというのを企画して、スピーチコンテストに参加することがあります。また、英語だけの目的ではありませんが、例えば修学旅行に行くと、最近外国人の旅行客もたくさんいるので、そういった外国人の方と英語で会話するなど、それぞれの教員が工夫できることだと思います。自分自身の経験としては、中学校の修学旅行に行ったときに、日本の文化のことを外国人の方やそこで出会った人に紹介をし、何人と話をしてきたかということを書いてきてから報告させていました。

小澤尚久委員 小学校との関わりについて、様々な工夫がなされていると思うのですが、特に特徴的だというようなところがあったら教えていただければと思います。

説明員 どの教科書につきましても、小学校との関わりということにつきましては工夫され

ております。東京書籍ではハイイングリッシュとユニットゼロの二層型で、ハイイングリッシュでは小学校外国語活動、聞く・話す活動などを振り返っていて、ユニットゼロでは音と文字とのつながりを押さえるためにアルファベットと単語を書くときのルールを重点的に取り扱っています。

また、開隆堂では、レッツスタートにおいて小学校外国語活動での成果を検証、確認して、語学としての中学校英語科の学習にどうつなげていくかを計画するページとして位置付けております。プログラム1では、音声から文字への導入を重視して、アルファベットの提示としています。

学校図書では、プレッスンとして、小学校外国語活動で慣れ親しんできた活動により、生徒のコミュニケーション能力の素地がどの程度養われているか把握できるようになっております。また、文字の導入は、つづりと発音との関係が分かりやすく指導できるよう工夫されています。

三省堂では、ゲットレディで小学校外国語活動で触れた内容を振り返り、中学校の学習内容の橋渡しをしております。アルファベットの音を確認して、英語の音とつづりに親しむ活動を設定しています。レッスン1から3までは、小学校外国語活動で慣れ親しんできた聞く活動から導入しております。

教育出版では、生徒が今までの小学校外国語活動から、中学校英語にスムーズに移行できるように、スプリングボード1から10を第1学年の巻頭に設置しております。スプリングボード4までは聞く・話す活動を通して、小学校外国語活動を振り返ると同時に、徐々にアルファベットや文字、音の関係などに触れていくようになっています。

最後に光村図書出版でございますが、レッツエンジョイイングリッシュを入門期の教材としておりまして、小学校で慣れ親しんできた標準的な学習内容を通して音とつづりを結び付けるなど、音声を中心とした活動をしながら、アルファベットの文字などに無理なく親しめるように工夫がされております。

このように各発行者、第1学年の教科書の前半の部分にかなり小学校との接続というのを意識して作っていると思います。以上でございます。

井出健治郎委員 数学でもお伺いしたので、念のためお伺いしたいと思うのですが、今回の外国語の草加市の生徒の実態を踏まえた観点から少しずれてしまうのですが、やはり学力調査等の話も他の教科でも出てきたことがあって、ここにある発行者の立て付けとか、こういう方向性で、こういうふうになっているというのはよく分かりました。実際に言っていたかなく

ても結構なのですけれども、いろいろな視点の中で、例えば、ここは学力云々という意味でレベルが高いとか、ここは平均的とか、ここは基礎的なというような、レベル感というのは協議された中で、何となく感覚はありますか。

説明員 実際のところは、それぞれのページによって違っていたり、構成によって違っていたりするかと思います。中には読み物教材などでかなり読みごたえのある内容のものは、英語を苦手とする子にとってはちょっと厳しいというようなものも第3学年の中ではありますが、でも、そういうのもやっていけないといけないので各発行者で扱っています。それだけではなくて、基礎的なことをきちんと身に付けさせるということで、基本的な文、基本的な練習など誰でも取り組めるものが各発行者とも入っていて、難しい教材から簡単な教材まで全部織りまぜて、バランスよく各発行者扱っております。

高木宏幸教育長 そうすると、今の説明でいくと、英語4技能をバランスよく、確実に力が付くようにそれぞれの発行者が工夫している、ステップ・バイ・ステップできちんとやっていて、最後に自己表現をして、コミュニケーション能力の育成に関わるような、そういうつくりになっているということは共通していますか。

説明員 幾つかのまとまったステップをやったところで一つ統合的な活動があります。教科書のつくりはほとんどの場合はそうなっておりますので、大体、学期の中で1回は大きな活動でまとめ、表現力や思考力を高めていくという工夫は、内容は違っても、各発行者そのように作られているように思います。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。

それでは、次の教科に入ります。説明員の方、お入りください。

<美術>

説明員 美術科の教科書についてご説明申し上げます。

草加市の生徒の実態でございますが、作品の制作については発想や構想の能力に課題が見られます。また、鑑賞の能力では、特に伝統文化等の作品への理解と鑑賞における能力の向上に課題が見られます。

草加市の生徒の実態を踏まえての観点についてでございますが、発想や構想能力につきまして表現や鑑賞の活動を通して、視覚や触覚などを十分に働かせ、色や色彩、材料などからそれらの性質や感情、イメージなどを豊かに感じ取るような指導、及び思考力、判断力、表現力を育成して、豊かな発想力を引き出すことが重要であることから、創意工夫し、美しく表現する

技能を高める工夫としました。伝統文化等の作品への理解と鑑賞における能力の向上につきまして、古くからの美術作品や生活用具を鑑賞することにより、各時代に生きた人々の美意識や創造的な精神などを感じ取り、それらを踏まえて現代の美術や文化をとらえることにより、文化の継承と創造性の重要性を理解する指導が重要であることから、良さや美しさなどを味わわせる工夫といたしました。

次に、各発行者の特色、特徴等についてご説明申し上げます。絵や彫刻などの表現により風景の表現を例に取ってご説明させていただきます。

開隆堂出版につきましては、『美術1』の10ページから15ページをご覧ください。「心引かれる風景」という題材で身近な風景をよく観察する中で、注目させたい場所をクローズアップしたり、主題の見付け方や色彩や光の変化のとらえ方などを掲載したりして表現する技能を高める工夫があります。

また、15ページの風景写真は、主題設定のヒントとして掲載されている作家や生徒作品には作者の言葉が添えられているなど、工夫が見られます。

次に、光村図書出版につきましては、『美術1』の12、13ページをご覧ください。「心安らぐ私の風景」という題材では、自分が好きな心引かれる風景を構図や色を工夫して表そうというねらいがあります。1人の作家の作品には作者の言葉が添えられており、作者が描きたいと感じた気持ちが分かり、作品制作の参考になる工夫があります。

次に、日本文教出版につきましては、『美術1』の12、13ページをご覧ください。「なぜか気になる情景」という題材で、見慣れている場所から表したい主題を明確にして、表現の構想を練り、工夫して表そうというねらいであります。スケッチやカメラでの記録をいかして作者の意図を焦点化した作品が紹介されています。生徒作品には作者の言葉が添えられており、切り取った場所の何に心を引かれたのかが分かり、作品制作の参考になる工夫があります。

次に、絵画や彫刻などの鑑賞より、日本の美術についてご説明させていただきます。

初めに、開隆堂出版につきましては『美術2・3』の6ページをご覧ください。「富士」を題材とした江戸時代から近代までの作家の作品を紹介しています。横山大観の作品は2ページ分を使用して紹介されています。実際に折り曲げることができるので、屏風の作品の良さを味わうことができます。また、多くの年代の作品から多様な表現を比べて味わうことができます。

さらに、43ページをご覧ください。絵巻物の世界として「伴大納言絵巻」及び「鳥獣人物戯画」を上下に並べながら、見開き3ページにわたって紹介しています。それにより、絵巻物の特徴である右から左に展開する絵画表現を分かりやすく鑑賞することができます。

次に、光村図書出版につきましては『美術1』の22から27ページをご覧ください。扉に「風神雷神像」を掲載し、扉を開くと俵屋宗達の国宝、「風神雷神図屏風」が見開きで掲載されております。本を立てて実際の屏風のように左右折り曲げて作品を鑑賞でき、平らにして開いた状態と違う印象で作品を感じ取ることができます。

さらに『美術2・3』の101ページから103ページをご覧ください。「鳥獣人物戯画」作品を絵巻物のスタイルに沿って3ページ分を横長に使う、その良さを味わい、また、部分を取り出して現代の漫画やアニメーションに共通する表現を紹介しています。これらの対比により、伝統の継承と文化の創造について考えさせることができます。

最後に、日本文教出版につきましては、『美術2・3』の上、24ページから29ページをご覧ください。浮世絵版画をメインに、ヨーロッパ美術が浮世絵から受けた影響を紹介し、美術がつなぐ人と文化について紹介しています。特に、26ページから29ページにかけての見開きの二つの葛飾北斎の作品は、原寸大に和紙を用いたことにより、浮世絵の持つ良さを味わわせることができます。

さらに、『美術2・3』の下、24から25ページをご覧ください。「教科書美術館」と題して修学旅行で奈良、京都を訪れた際には注目させたい仏像を示し、扉を開くと三十三間堂の国宝、妙法院蓮華王院の写真が掲載されており、興味関心を持たせるとともに、伝統文化の良さを感じさせることができます。以上でございます。

高木宏幸教育長 ただ今、説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

宇田川久美子委員 基本的なことなのですが、教科書、1と2・3となっていて、1、2、3でないのはなぜですか。

説明員 これは、学習指導要領で分かれており、1年生と、2、3年生に関してはその発達の段階に応じて学校で2年間の中で子どもの実態に合わせて目標を達成させるように選択するということがございまして、それに合わせた形で教科書が作られている形です。

宇田川久美子委員 2・3というのと2・3上、2・3下というように分かれていますが、それも順番にやっていくというわけではないのでしょうか。

説明員 はい。日本文教出版ですが、発達の段階に合わせて自己から生活、生活から社会、自然環境という形でどんどん世界を広げていくという、発行者の意図がありまして、それぞれの発達の段階によって世界を広げていくということで分冊にしたと見ております。

小澤尚久委員 これも個人差が結構大きい教科だと思います。児童生徒の作品などを多く提示して、発想力を膨らませていく方法もあると思うのですが、その子の発想に火を点ける

ような、そういう基本的な部分だとか、そういったところで配慮しているところというのは特に見られますか。

説明員 生徒作品は、より自分たちの技法または力に近いものであるとか、発想にしてもやはり中学生のみずみずしい感性といったものが多いので、一つのヒントになるという意味では、生徒作品というのは良いポイントになるかと思います。

小澤尚久委員 他のところで、更に一步手前という子たちもいるわけですね。そういう生徒さんたちに何かヒントとなるような部分というのは、他に何かありますか。いろいろな工夫はあると思うのですが。

説明員 どの発行者も多くの資料を入れておまして、例えば、身近なアニメーションのような作品や、それこそキャラクターのような作品から、または古今東西のものもたくさん取り入れておられますので、クラスの実態に合わせてそのページを開けさせてヒントに、または個々にヒントとして提示することが可能かと思われます。

村田悦一教育長職務代理者 私は、美術は表現方法、それに工夫がいろいろあると思うのですが、当然、教科書が変わるたびにいろいろな表現方法が出てきて、新しいものが取り入れられていくと思います。例えば、今、新しく出されているものの中で、今までに無かったもの、例えばこんなものが今は最先端とか、あるいは無かったものが新しく取り入れられているというのはあるのですか。そういうところをたくさん入れればいいというものでもないのでしょうか。けれども、表現方法、表現技術についてはどうでしょうか。

説明員 表現技術では、特に新しくこの技術を入れたというものはないように感じられるのですが、今までは教科書に資料集が付いていて、資料集で細かく技法ややり方などは書いてありましたので、資料集を買って、副読本として扱うことが多かったのですが、今回はどの発行者のものを見ても、資料集は買わなくてもこのまま使えるものが多いというように感じました。

村田悦一教育長職務代理者 実際には、特に美術はある意味で芸術というか、指導者の個性というものが、例えば絵画が得意だとか、彫塑が得意だとか、立体だとか、いろいろあると思います。実際の授業では、教科書の題材や年間指導計画も含めて、教師の力量、発想、持ち味は教科書との関連でどの程度出せるのですか。教師は教科書を教えることだけで、それは極端ですけれども、現実どうなのでしょう。

説明員 特に美術は、一つの投げかけになりまして、教師がねらいに沿った題材を付けるということが多くございます。小学校はどちらかというとその題材のまま教科書に沿ってやっていくという形が多いのですが、中学校はどちらかというと、これを一つのヒントにして、ねら

いを自分の中で定めて、評価規準を定めて、題材を付けて、子どもに絞り込んでいくというよ
うな指導が多いかと思えます。

高木宏幸教育長 他にはいかがでしょうか。

それでは、以上で各教科の説明を終了といたします。

ここで2時40分まで休憩にしたいと思います。休憩後、委員会を再開いたします。なお、
再開後の委員会では採択を行います。会の冒頭でお諮りしましたとおり、秘密会で行います
ので、傍聴人の方、あるいは関係者以外の方は、ここでご退席をお願いしたいと思います。

傍聴者・執行部退席

(休 憩)

午後2時40分 再開

(秘密会)

(秘密会終了)

傍聴者・執行部退席

高木宏幸教育長 第35号議案につきましては決定をいたしました。

なお、決定しました教科書名につきましては、この後、30分後に公表いたします。また、
ホームページへの掲載については、準備が整い次第、速やかに掲載いたします。

高木宏幸教育長 続きまして、その他の報告がございましたらお願いいたします。

教育総務部長 特にございません。

高木宏幸教育長 その他の報告がないようでしたら、次回の教育委員会の日程について、事
務局からお願いいたします。

教育総務部長 次回の教育委員会の日程についてですが、第8回定例会につきましては、

8月20日木曜日、時間は午後1時30分から、場所は教育委員会会議室でお願いしたいと思います

閉会の宣言

高木宏幸教育長 それでは、以上をもちまして、本日の委員会を終了いたします。

午後4時37分 閉会